C77JP1291

J 日本語

SIGMA

DP1 Merrill

THE SIGMA DP1
A COMPACT CAMERA WITH
MERRILL GENERATION
FOVEON X3 FULL COLOR
IMAGE SENSOR

使用説明書

このたびはシグマ製品をお買い上げ頂きありがとうございます

カメラの機能を十分に理解していただき、正しくより良い撮影ができますように、ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、いつまでもご愛用頂きたくお願い申し上げます。

- 使用説明書は、必要なときにいつでも御覧いただける場所に保管して、使用の際に不明な点が生じた場合にご活用ください。
- この製品はご購入より 1 年間の品質保証がなされています。保証の内容、およびアフターサービスについては、別紙の“保証規定”を御覧ください。

著作権について

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

■ FOVEON は、Foveon Inc.の登録商標です。X3 および X3 ロゴは、Foveon Inc.の商標です。

■ SD ロゴは、登録商標です。

■ IBM PC / AT シリーズは、米国 International Business Machines 社の商標、または登録商標です。

■ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

■ Macintosh、および Mac OS は、米国およびその他の国で登録された、米国 Apple Inc の商標です。

■ Adobe、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

■ その他、本冊子中の社名や商品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

■ 本製品は、メニュー表示等に株式会社リコーがデザイン制作したエレメント方式フォントを使用しています。

妨害電波自主規制について

本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラス B 情報技術装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本カメラをラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カメラと付属品の確認

ご使用になる前に、以下のものがすべて揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがある場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

① DP1 Merrill カメラ本体
② レンズキャップ（カメラ本体に付属）
③ ホットシューカバー（カメラ本体に付属）
④ ストラップ
⑤ リチウムイオン充電池 BP-41（２個）
⑥ バッテリーチャージャー BC-41
⑦ USB ケーブル
⑧ AV ケーブル
⑨ 使用説明書（本書）
⑩ 保証書
⑪ 保証書シール

- 画像を記録するメモリーカードは付属していません。別途お買い求めください。

目　次

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

各文章の ⚠ 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。
各文章の ⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げています。

⚠警告（電池、充電器、電源について）

⚠ 電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合、液漏れにより健康を害するおそれがあります。ただちに医師にご相談ください。

⃠ 使用説明書に指定されていない電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

⃠ 電池は指定された機器以外には使用はしないでください。電池の破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

⃠ 強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⃠ 電池の分解、火中、水中への投下、加熱、ショートは絶対しないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⃠ 指定されていない電池を充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

⚠ 万一、カメラや電池から煙が出る、異常に熱くなる、焦げ臭いなどの現象が起きた場合、ヤケドに注意し速やかに電池を抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。

⚠ 電池を処分される場合は、テープなどで接点部を絶縁してください。また、お住まいの自治体の規則に従ってください。

⚠ 長期間使用しない場合、電池室から電池を取り出してください。長期間放置しますと液漏れによるカメラの破損の原因となります。

⚠ AC 電源を使用する際は、必ず専用の AC アダプターを使用してください。感電、発火の原因となります。

⚠ 専用の AC アダプターは、他の機器に使用しないでください。発熱、発火、感電、けがの原因となります。

⚠ AC アダプターを使用中に煙や異臭、異音が発生した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります。

⚠ 水や異物が AC アダプター内に侵入した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります

🛇 改造や分解はしないでください。火災や感電の原因になります。

🛇 コードの上に重たい物をのせたり、コードを引いたり曲げたり、また熱したりしないでください。コードの損傷、火災や感電の原因になります。

🛇 指定(AC100V-240V)された以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 電源コードは、指定されているものを使用してください。

⚠警告（カメラについて）

🛇 プロパンガス、ガソリンなどの引火性のガスが発生する場所では、火災、爆発のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ カメラはお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

🛇 カメラは自分で分解、改造しないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。

🛇 落下等で破損した場合、内部に手を触れないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。電池を抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。

⚠ 水中に落としたり内部に水が入った場合、電池を抜いてご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。そのまま放置しますと火災や感電の原因となります。

🛇 カメラ本体のコネクター部に、金属片等を差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因となります。

🛇 フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。視力障害の原因となります。特に乳幼児を撮影する場合は、1m 以上離れてください。

🛇 フラッシュの発光部を手で覆ったまま発光しないでください。ヤケドの原因となります。

⚠注意 （充電器、電源について）

充電器や AC アダプターをコンセントから抜く場合、コードを引っ張らないでください。コードを痛め、火災や感電の原因となります。常にプラグを持ってコンセントから引き抜いてください。

充電器やACアダプターを布やクッションなどで覆い被さないでください。発熱し、本体を変形させたりし、火災の原因となります。

使用しない場合は、安全の為コンセントを抜いてください。

充電器やＡＣアダプターを掃除する場合は、安全の為コンセントから抜いて行ってください。

⚠注意（カメラについて）

レンズキャップをはずしたまま放置しないでください。レンズに長時間日光があたった場合、カメラの故障や火災の原因となることがあります。

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないでください。転倒したりぶつけたりして、けがの原因となることがあります。

カメラをぬれた手でさわらないでください。感電することがあります。

カメラを熱いものの近くや、日中の車内に放置しないでください。カメラ自体が高温になり、ヤケドの原因となることがあります。

液晶モニタが破損した場合、ガラスの破片にご注意ください。ケガの原因となります。また、破損により液晶モニタ内部の液体が流出し、以下のような状況になった場合、それぞれの対処を行ってください。

■液体が衣服や皮膚に付着したときは、ただちに石鹸で洗い流してください。

■液体が目に入ったときは、ただちにきれいな水で 15 分以上洗浄し、医師の診療を受けてください。

■液体を飲み込んだときは、大量の水を飲んで吐き出し、医師の診療を受けてください。

取り扱い上のご注意

ご使用の前に

結婚式や海外旅行など、大切な撮影をする前には、事前のチェックや試し撮りをして、カメラが正常に作動するか必ず確認してください。撮影に要した諸経費、および撮影により得べかりし利益の損失等については保証致しかねます。

長期間の旅行、野外撮影、寒冷地での撮影、またはたくさんの写真を撮られるようなときなどには、満充電の電池を多めに用意することをおすすめします。

ご使用の環境や注意点について

- カメラは精密機械です。ぶつけたり、落としたりしないでください。
- このカメラは防水構造になっていませんので水中では使用できません。水滴がついた場合は速やかに乾いたきれいな布で拭きとってください。万一、水がかかったり、水中に落とした場合には早めに弊社営業所にご連絡ください。
- ほこりの多い場所や高温多湿の場所（特に日中の車内等）へ長時間放置しないでください。
- 寒い場所から温かい室内に持ち込む場合、カメラに水滴が生じます。カメラをバックやビニール袋に入れて周囲の温度になじませてからご使用ください。
- このカメラの使用可能温度は約 0℃～＋40℃、使用可能湿度は約 85%以下（結露しないこと）です。0℃以下になると電池の性能低下が影響します。寒い場所では予備の電池を用意し、ポケットに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。
- 静電気や磁気の影響により、まれにカメラが作動しなくなることがあります。このようなときは、一旦電池を取り出して再度装填し直してください。また、強い電波や磁気の発生する場所では、カメラが正常に作動しない場合があります。

長時間撮影の注意点について

- カメラの表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 長時間連続して撮影すると、カメラの温度が上昇し、警告マーク（）が表示されます。さらに温度が上昇すると、警告メッセージが表示され、自動的にカメラの電源が切れます。

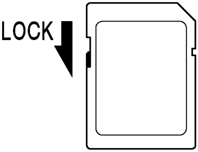
■ カメラの電源が切れた場合は、カメラの温度を充分下げるために、10 分以上放置してください。

■ カメラの温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。警告マーク（）が表示されたら、カメラの電源を切り、温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。

SD メモリーカード、マルチメディアカードについて（別売）

本カメラに使用できるメモリーカードは SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書では SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、マルチメディアカードを「カード」と記載しています。
- 本カメラには SDHC メモリーカード、もしくは SDXC メモリーカードのご使用をおすすめします。
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードはカードへの書込みやフォーマットを禁止できる書込み禁止スイッチを備えています。「**LOCK**」側にしておくと、ファイルの誤消去を防ぐことができます。



■ マルチメディアカードはデータの書込み速度が遅いため、連続撮影や動画撮影モードでのご使用はお勧めできません。

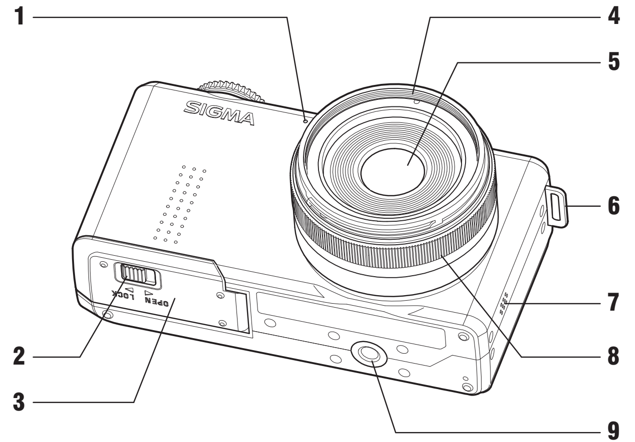
■ カードを直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばに放置しないでください。

■ カードを温度の高い場所、湿度の高い場所、静電気の起こりやすい場所や電磁波が発生している場所に保管しないでください。

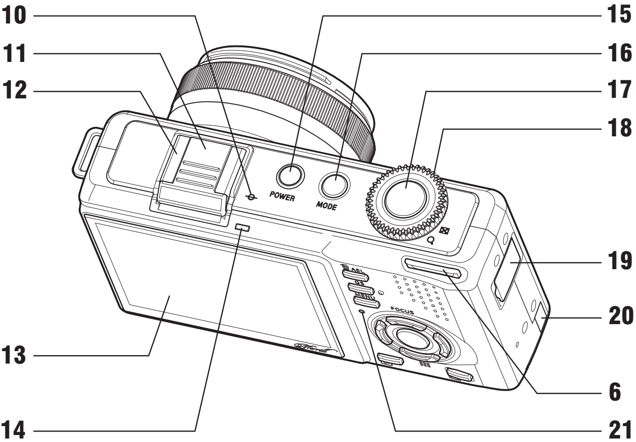
■ カードの詳細な取扱い方法については、それぞれの使用説明書の内容に従ってください。

■ カメラの「カードの初期化」やパソコンの「削除」の機能では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

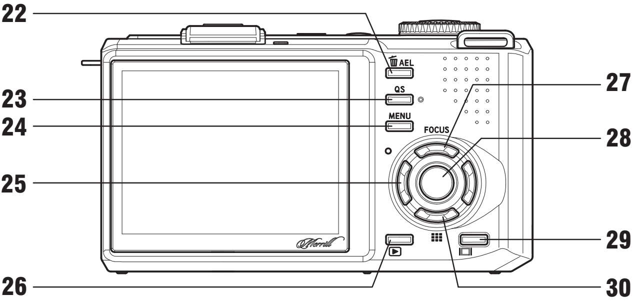
各部の名称



1
4
5
SIGMA
6
LOCK
OPEN
7
2
8
3
9



10
15
11
16
12
17
18
POWER
MODE
AEL
QS
MENU
FOCUS
19
20
13
6
14
21



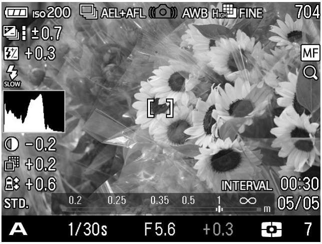
1	マイク
2	開閉レバー
3	電池／カード室ドア
4	フィルターねじ
5	レンズ
6	ストラップ取付金具
7	スピーカー
8	フォーカスリング
9	三脚ネジ穴
10	撮像素子位置マーク
11	ホットシューカバー
12	ホットシュー
13	液晶モニタ
14	フォーカスランプ
15	電源スイッチ
16	モードボタン
17	シャッターボタン
18	コマンドダイヤル
19	USB / AV カバー
20	DC コネクターカバー

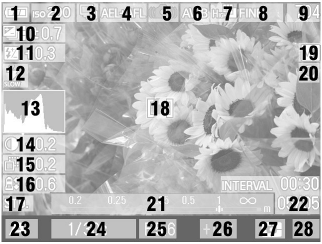
21	アクセスランプ

22	AEL ／🗑 (AE ロック／削除) ボタン
23	QS (クイックセット) ボタン
24	MENU (メニュー)ボタン
25	◀▲▼▶ 十字コントローラー
26	▶ (再生) ボタン
27	FOCUS (フォーカスモード) ボタン
28	OK (OK) ボタン
29	|□| (ディスプレイ) ボタン
30	▦ (フォーカスフレーム) ボタン

液晶モニタの表示

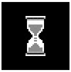
静止画撮影時に表示されるアイコンを説明します。



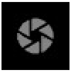


1	電池残量表示	**15**	シャープネス ※
2	ISO 感度	**16**	彩度 ※
3	ドライブモード	**17**	カラーモード
4	AE ロック ※	**18**	フォーカスフレーム
5	手ぶれ警告	**19**	フォーカスモード ※
6	ホワイトバランス	**20**	MF 拡大表示中警告 ※
7	画像サイズ	**21**	MF スケールバー ※
8	画質	**22**	インターバル撮影 ※
9	撮影可能枚数	**23**	露出モード
10	オートブラケット ※	**24**	シャッター速度
11	調光補正値 ※	**25**	絞り値
12	フラッシュモード ※	**26**	露出補正値 / 露出メーター
13	ヒストグラム ※	**27**	測光モード
14	コントラスト ※	**28**	バッファー残量表示

※設定時のみ表示されます。



静止画撮影直後、カメラ内で画像処理中に表示されるアイコンです。このアイコンの表示されている間は、次の撮影やボタンによる操作ができません。

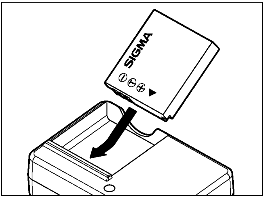


スローシャッター時、露光中であることを示すアイコンです。

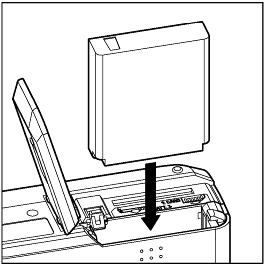
操作の流れと参照項目

DP1 Merrill にはたくさんの機能がありますが、このページでおおよその流れをつかんで、各項目で操作の詳細をマスターしてください。

カメラを使う準備をします



電池を充電します（P.18）
付属の専用リチウムイオン充電池を専用充電器で充電します。



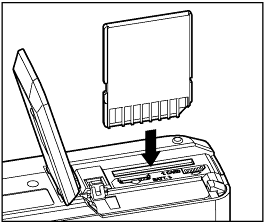
電池を入れます（P.20）
ふたの内側の表示に従って、電池を入れます。



言語を設定します（P.25）
メニュー画面の文字が、ご使用になりたい言語と異なる場合は、言語を変更します。

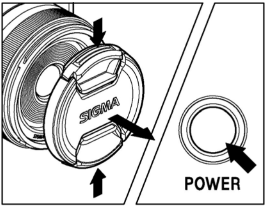


日付と時間を設定します**（P.27）**
ファイルに撮影日時が正しく記録されるように、日付と時間の設定をします。

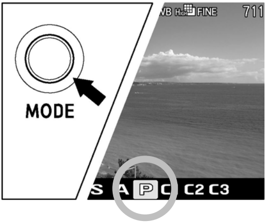


カードを入れます**（P.40）**

撮影します



電源を入れます
レンズキャップを外して電源ボタンを押します。

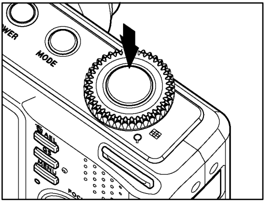


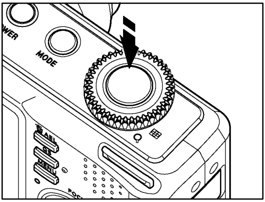
露出のモードを選びます**（P.44）**
まずは **P**（プログラムオートモード）にセットしましょう。



ピントを合わせます（P.49）

液晶モニタで構図を決めてシャッターボタンを半押しします。





撮影します

さらにシャッターボタンを押し込んで撮影します。



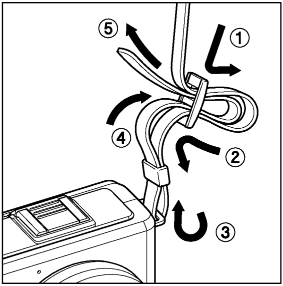
撮影した画像を確認します（P.82）

画像が 2 秒間表示されます。

カメラを使う準備をする

撮影をはじめる前に、必要な準備やチェックする項目について説明します。

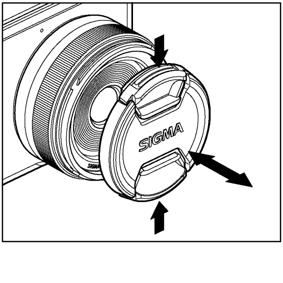
ストラップの取り付け方



付属のストラップの両端を一旦ほどいて、図のように左右のストラップ取付け金具に通して取り付けます。

レンズキャップ

レンズを保護するためにレンズキャップが取り付けられています。カメラを使用しない場合はレンズキャップを取り付けて保管してください。

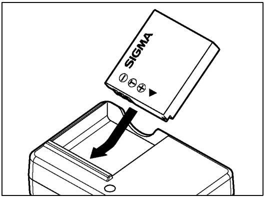


図のように取り付け、取り外しを行います。

電池を入れる

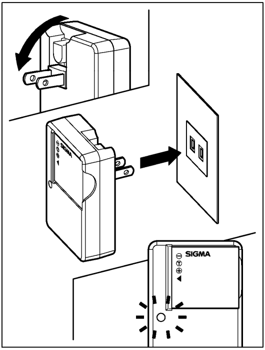
DP1 Merrill は、付属の専用リチウムイオン充電池 BP-41 を使用します。お買い上げの際には、電池は充電されていません。付属の専用充電器 BC-41 で充電を行ってからお使いください。

電池を充電する



1

図のように、電池をスライドさせて充電器に取り付けます。



2

図のように、充電器のプラグをカチッとなるまで起こし、コンセントに差し込みます。

- 充電中は緑色の充電ランプが点灯します。
- 充電時間は約 140 分です。
- 充電時間は周囲の温度や、充電状態によって異なります。

3

充電ランプが消えたら充電完了です。

電池を外し、充電器をコンセントから外してください。

- 電池の充電は、なるべくご使用の直前にされることをおすすめします。日数がたちますと、自然に放電され、使用できる時間が短くなります。
- 充電しても、撮影可能枚数が極端に少なくなった場合は、電池の寿命が考えられます。新しい充電池をお買い求めください。

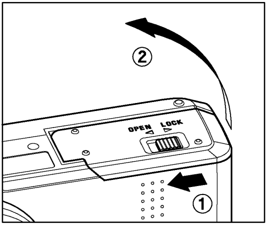
- この製品にはリチウムイオン電池を使用しています。ご使用済の電池は貴重な資源となります。端子にテープを貼りつけて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちください。

リサイクル協力店のお問い合わせ先は、
有限責任中間法人 JBRC

Li-ion

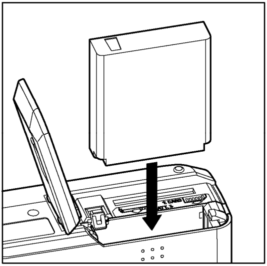
ホームページアドレス： http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

電池の入れ方



1

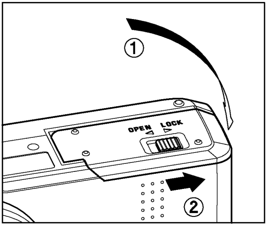
図のように開閉レバーを OPEN 側にスライドさせて、電池／カード室ドアを開きます。



2

電池／カード室内の表示に従って電池を入れます。

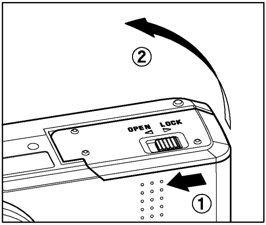
- 電池がロックされるまで押し込んでください。



3

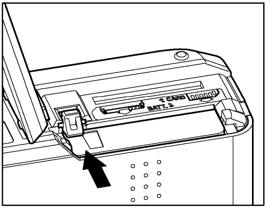
図のように電池／カード室ドアを閉め、開閉レバーを LOCK 側にスライドさせてロックします。

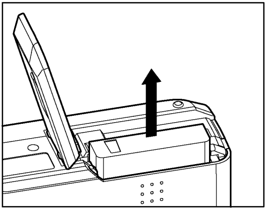
電池の取り外し方



1

電源が OFF になっているのを確認し、図のように開閉レバーを OPEN 側にスライドさせて、電池／カード室ドアを開きます。





2

電池ロックレバーを図のようにスライドさせて、電池を取り出します。

警 告!!

- アクセスランプが点灯している時には、絶対に電池／カード室ドアを開けないでください。電源が落ち、書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

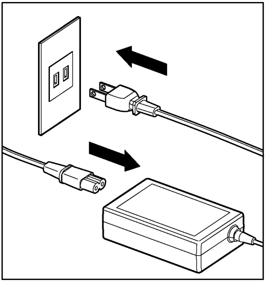
電池のチェック

液晶モニタの左上に電池の残量を示すアイコンが表示されます。表示の意味と対応は下図の通りです。カメラの使用前及び使用中は、常に電池アイコンをチェックするよう心がけてください。

	表示の意味と対応
	電池の残量が十分にあります。
 	電池の残量が残り少なくなっています。新しい電池をご用意ください。
	電池の残量が殆どなく、まもなくカメラが作動しなくなります。電池を交換してください。
 （赤色）	電池の残量がなく、カメラが作動しません。電池を交換してください。

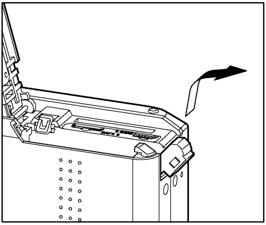
家庭用電源の使い方（別売）

別売りのＡＣアダプター（SAC-5）と DC コネクター（CN-11）を使用して､家庭用電源でカメラを作動させることができます｡長時間の撮影、画像の再生、パソコンとの接続時等におすすめします。



1

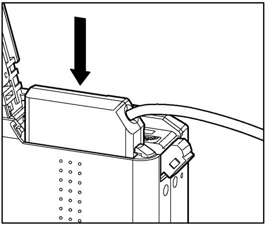
図のようにACケーブルをACアダプターとコンセントに接続します。



2

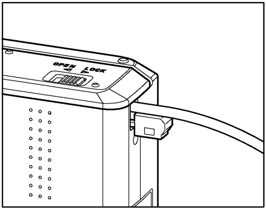
電池／カード室ドアを開き、図のようにDC コネクターカバーを開きます。

- DCコネクターカバーを強く引っ張ると本体から外れてしまうのでご注意ください。



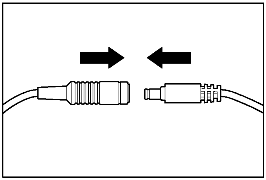
3

図のように DC コネクターをロックされるまで押し込みます。



4

DC コネクターのコードを挟み込まないように注意しながら、電池／カード室ドアを閉めます。



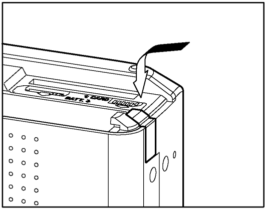
5

AC アダプターのプラグと DC コネクターのジャックを接続します。

警 告!!

- アクセスランプが点灯している時には、絶対に電池／カード室ドアを開けないでください。電源が落ち、書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

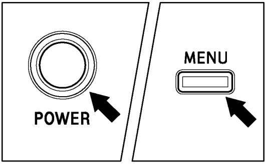
- 使い終わったらカメラの電源を OFF にして、プラグをコンセントから抜いてください。
- 家庭用電源での作動中は、電池の有無、もしくは電池容量にかかわらず、液晶モニタの電池アイコンはフルの表示になります。電池による作動に切り替えると、本来の残量表示に切り替わります。

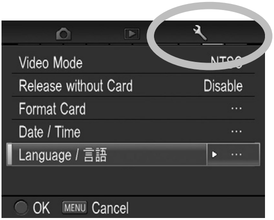


DC コネクターを取り外したあとは、図のように DC コネクターカバーを閉めてください。

言語の設定

液晶モニタに表示されるメニューやメッセージの言語は、英語が初期設定となっています。セットアップメニューの「**Language / 言語**」で日本語に設定を変更してください。







1

カメラの電源を入れます。

2

本体背面の **MENU** ボタンを押してセットアップメニューを開きます。（**P.28** 参照）

3

コマンドダイヤルを回して「**カメラ設定 (3)**」を選択します。

4

ボタンを押して、「**Language/ 言語**」を選択します。

5

ボタンか **OK** ボタンを押して、言語設定画面を開きます。

6

ボタンで「**日本語**」を選択します。言語は 17 種から選択できます。（次ページ参照）

7

確定する場合は、**OK** ボタンを、変更しない場合は、**MENU** ボタンを押します。

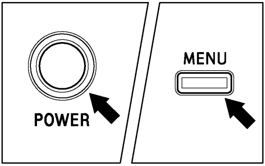
選択できる言語

English	英語（初期設定）
日本語	日本語
Deutsch	ドイツ語
Français	フランス語
Español	スペイン語
Italiano	イタリア語
简体中文	中国語（簡体字）
繁體中文	中国語（繁体字）
한국어	韓国語

Русский	ロシア語
Nederlands	オランダ語
Polski	ポーランド語
Português	ポルトガル語
Dansk	デンマーク語
Svenska	スウェーデン語
Norsk	ノルウェー語
Suomi	フィンランド語

日付と時間の設定

初めて使用する場合、あるいは長期間使用していなかった場合は、日付と時間を正しく設定してください。







1

カメラの電源を入れます。

2

本体背面の **MENU** ボタンを押してセットアップメニューを開きます。(**P.28** 参照)

3

コマンドダイヤルを回して「**カメラ設定 (3)**」を選択します。

4

▲▼ボタンを押して、「**日付 / 時刻**」を選択します。

5

▶ボタンか OK ボタンを押して、日付 / 時刻設定画面を開きます。

6

◀▶ボタンで各項目を選択し、▲▼ボタンで修正します。

7

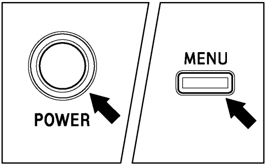
確定する場合は、OK ボタンを、変更しない場合は、**MENU** ボタンを押します。

メ モ

- 日付表示は、①年月日、②月日年、③日月年の 3 種類から選べます。「**日付設定**」の項目で希望する状態にセットしてください。
- カメラの内蔵時計は、カメラ動作用電池から内蔵の充電池に充電された電気で動いています。長期間カメラに電池が入っていない状態で、充電がされていない場合は、内蔵時計を再設定する必要があります。

セットアップメニュー

カメラ操作の基本となるセットアップメニューについて説明します。
セットアップメニュー画面から、カメラのこまかい機能や、カメラの基本状態を設定することができます。



セットアップメニューを開く

- 本体背面の **MENU** ボタンを押します。

再度 **MENU** ボタンを押すと、セットアップメニューが閉じ撮影状態に戻ります。（画像の再生中（**P.83**）では、元の表示画像に戻ります）

タブエリア



他のページに移動する

コマンドダイヤルを回すごとに、となりのページに移動できます。（タブエリアが選択されている時は、◀▶ボタンを押してもとなりのページに移動できます。）



セットアップメニューでは：

- ▲▼ボタンを押して、希望の項目を選択します。
- ▶ボタンか OK ボタンを押すとサブメニューが開きます。（項目によっては、専用画面が開いたり、確認メッセージが表示されるものがあります。）



サブメニューでは：

- ▲▼ボタンを押して、希望のオプションを選択します。
- ▶ボタンか OK ボタンで確定します。（◀ボタンを押すと、オプションが変更されずにサブメニューが閉じます。）

● セットアップメニューは以下の 3 つのグループに分類されています。



撮影設定（青いタブ）

撮影に関する機能を設定するメニューです。撮影モード時に **MENU** ボタンを押すと、「**撮影設定**」メニューが開きます。



再生設定（赤いタブ）

画像の再生に関する機能を設定するメニューです。DPOF 設定などプリントに関する設定も再生設定メニューに含まれます。画像の再生中に **MENU** ボタンを押すと、「**再生設定**」メニューが開きます。



カメラ設定（黄色のタブ）

日付の設定や言語の選択など、カメラの基本状態を設定するメニューです。**MENU** ボタンを押してセットアップメニューを開き、コマンドダイヤルを回して「**カメラ設定**」メニューに移動します。

メ　モ

● カメラの状態によって、設定することができない項目やオプションは、グレーで表示されます。

メニューリスト

設定項目の詳細は、各該当ページをご覧ください。

撮影設定

	項目	設定内容	ページ
(1)	**ISO 感度**	大きい数値ほど、感度が高くなります。（ただし画像にノイズが増えることがあります。）	**62**
	ISO 感度ステップ	ISO 感度の設定ステップ幅を選択できます。	**64**
	オートブラケット	オートブラケット撮影の段数と順序を設定します。	**71**
	測光モード	被写体の状況に合わせ、3つの測光方式を選択できます。	**68**
	ドライブモード	セルフタイマーなどのカメラの動作モードを設定します。	**55**
	フラッシュ	フラッシュ撮影に関するモードの設定と調光補正の設定を行います。	**78**

	項目	設定内容	ページ
(2)	**ホワイトバランス**	撮影時の光源の種類に応じて、ホワイトバランスのモードを選択します。	**60**
	画質	記録する画像の画質を設定します。	**66**
	画像サイズ	記録する画像のサイズ（記録画素数）の設定をします。	**65**
	カラーモード	各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモードを選択できます。	**74**
	ピクチャーセッティング	画像のコントラスト、彩度、シャープネスを調整できます。	**67**
	カラースペース	色空間の規格である「sRGB」か、「Adobe RGB」を選択します。	**66**

撮影設定（つづき）

	項目	設定内容	ページ
(3)	縦位置情報記録	撮影時に、縦位置撮影情報を画像ファイルに記録をするか、しないを設定します。	75
	撮影画像確認	撮影後､液晶モニタに自動的に表示される確認画像の表示時間を設定します。	82
	グリッド表示	構図の決定に便利なグリッド表示の ON/ OFF と、グリッド線の詳細を設定します。	39
	ボタン機能入換設定	各撮影モードでの露出設定・露出補正を行うボタン・ダイヤルの割当てを設定します。	112
	操作方向の反転	コマンドダイヤルとフォーカスリングの回転方向の反転をするか、しないかを設定します。	112

	項目	設定内容	ページ
(4)	AEL ボタンの設定	カメラ背面の AEL ボタンに割当てる機能の選択を行います。	69
	半押し AEL	シャッターボタンを半押しした際に､露出を固定するか、しないを設定します。	70
	AF+MF	通常の AF モードか､マニュアルによる微調整が可能な AF+MF モードにするかを選択します。	51
	AF リミットモード	フォーカスモードボタンに AF リミットモードを追加するか、しないかを設定します。	52
	速度優先 AF	通常の AF モードか、速度優先 AF モードにするかを選択します。	53

▶ 再生設定

	項目	設定内容	ページ
▶ (1)	ロック	ファイルのロック、もしくはロック解除を行います。	93
	マーク	画像ファイルのマーク、もしくはマーク解除を行います。	96
	回転	画像の表示方向の変更を行います。	98
	消去	ファイルの消去を行います。	92
	スライドショー	画像ファイルのスライドショー（連続自動再生）、およびスライドショーの詳細を設定します。	103
	DPOF 設定	カード内のプリントしたい画像の指定や枚数を設定します。	105

	項目	設定内容	ページ
▶ (2)	露出警告	再生画像に露出オーバーの警告を表示するか、しないかを設定します。	99
	OK ボタンの設定	OK ボタンに割り当てる機能の設定をします。	100
	回転表示	縦位置情報が記録された画像を回転して表示するか、しないかを設定します。	—
	音声メモ	記録された画像に音声を付加できる「音声メモ機能」の有効、無効を設定します。	101

🔧 カメラ設定

	項目	設定内容	ページ
🔧(1)	カスタムモードの登録	カスタムモード（C1・C2・C3）の登録を行います。	76
	QS カスタム設定	クイックセットメニューに割当てする項目を設定します。	37
	MF スケールの単位	マニュアルフォーカス時に表示されるMF スケールバーの単位を設定します。	54
	音声設定	各種電子音の有無や音量、動画・音声メモの再生音量を設定します。	115

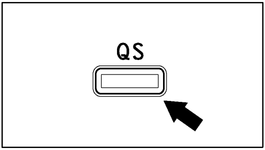
	項目	設定内容	ページ
🔧(2)	ファイル番号	新しいカードをカメラに入れたとき､もしくはカードを初期化した後などの、ファイル番号の付き方を設定します。	110
	LCD の明るさ	液晶モニタのバックライトの明るさを設定します。（画像ファイル自体には影響しません。）	—
	LCD オフ	操作をしない時に、自動的に液晶のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。	114
	オートパワーオフ	操作をしない時に、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	114

	項目	設定内容	ページ
🔧 (3)	**ビデオ出力**	カメラを TV やビデオにつないだときのビデオ出力方式を設定します。ご使用の地域に合った方式に切換えます。	**90**
	カードなしレリーズ	カメラにカードが入っていない状態でシャッターボタンを押した時に、シャッターが切れるか、切れないかの設定をします。	**43**
	カードの初期化	カードを初期化します。（カード内のすべてのファイルが消去されます。）	**42**
	日付/時刻	画像ファイルに記録される日付と時間を設定します。	**27**
	言語/Language	メニューやメッセージで表示される言語を選択します。	**25**

	項目	設定内容	ページ
🔧 (4)	**ファームウェアの更新**	現在のファームウェアバージョンの確認と、カードから最新ファームウェアのアップデートを行います。	**—**
	設定のリセット	各設定を初期設定に戻します。	**116**

クイックセットメニュー

撮影時に頻繁に使う以下の項目は、QSボタンを押すことにより、簡単に設定することができます。

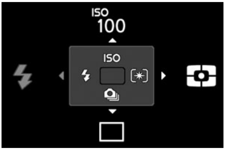


静止画撮影モード中に QSボタンを押すと、クイックセットメニューが表示されます。（QSボタンを押すたびにメニュー1 とメニュー2 が切り替わります。）

Qs1（クイックセットメニュー 1）

ISO 感度（P.62）

フラッシュモード（P.79）



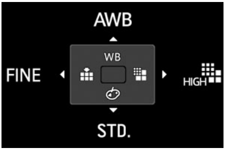
測光モード（P.68）

ドライブモード（P.55）

Qs2（クイックセットメニュー 2）

ホワイトバランス（P.60）

画　質（P.66）



画像サイズ（P.65）

カラーモード（P.74）

例えば、ISO 感度を 400 にしたい場合



1

QSボタンを押してメニュー1 を表示させます。

2

▲ボタンを押して、**ISO** の項目を選択します。

3

そのまま▲ボタンを数回押す、もしくはコマンドダイヤルを左右に回して 400 を表示させます。

4

OK ボタンを押すかシャッターボタンを半押しして､撮影状態に戻ります。

ご注意 !!

- フラッシュモードは、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態では設定できません。
- カラーモードの白黒とセピアは、画質の設定が JPEG（**FINE**, **NORM., BASIC**）の時のみ設定できます。
- カラーモードが白黒とセピアに設定されている時に、画質を **RAW**、もしくは **RAW+JPG** に変更すると、カラーモードが自動的に **STD.**（スタンダード）に切り替わります。
- ホワイトバランスの項目で、（カスタム）を選択した場合、「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ホワイトバランス**」→「**カスタム**」で最後に取り込まれた設定値で撮影されます。
- クイックセットメニューの（カスタム）では新しい基準値を取り込むことはできません。**61** ページ「**カスタムホワイトバランスの設定**」を参照し、新しい基準値の取り込みをしてください。

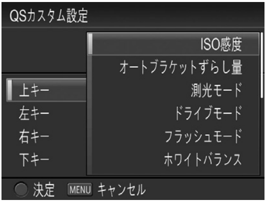
クイックセットメニューは、割り当てる項目を変更することができます。

割り当てできる項目は以下の通りです。

ISO 感度（**P.62**） オートブラケットずらし量（**P.71**） 測光モード（**P.68**） ドライブモード（**P.55**） フラッシュモード（**P.79**） ホワイトバランス（**P.60**） 画質（**P.66**）	画像サイズ（**P.65**） カラーモード（**P.74**） コントラスト（**P.67**） シャープネス（**P.67**） 彩度（**P.67**） 撮影モード（**P.44**）

「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**QS カスタム設定**」より、メニューに割り当てる項目を設定してください。





1

「**QS カスタム設定**」画面で◀▶ボタンを押して、メニュー1 か 2 を選択します。

2

▲▼ボタンを押して割当てを変更したいキーを選択し ▶ボタンか OK ボタンを押してサブメニューを開きます。

3

▲▼ボタンを押して割当てたい項目を選択し ▶ボタンか OK ボタンを押して確定します。

4

一通り割当てたい項目の設定が完了したら、MENU ボタンを押して、「**QS カスタム設定**」画面を閉じます。

液晶モニタの表示を切り替える

|□| ボタンを押すと、アイコンの表示/非表示を切り替えるなど、表示の状態を変更することができます。

アイコン表示



→

アイコン表示（ヒストグラムあり）



→

アイコン非表示

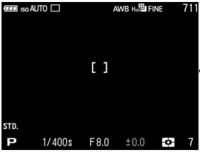


液晶モニタ OFF

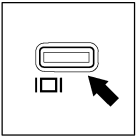


→

ビューファインダーモード



→ ・・・



|□| ボタンを押すたびに、液晶モニタの表示状態が以下のように切り替わります。

撮影時

静止画モード（**P**, **A**, **S**）
アイコン表示 → アイコン表示(ヒストグラムあり) →アイコン非表示 → 液晶モニタ OFF → ビューファインダーモード → ・・・
静止画モード（**M**）
アイコン表示 → アイコン非表示 → 液晶モニタ OFF → ビューファインダーモード → ・・・
動画モード
アイコン表示 → アイコン表示(ヒストグラムあり) → アイコン非表示 ・・・

- ビューファインダーモードは、撮影情報のみを表示します。別売りのビューファインダーを使用の際に便利な表示モードです。

再生時

静止画
アイコン表示（撮影日時表示）(**P.84**) → アイコン表示（撮影データ表示）(**P.84**) →アイコン非表示 → 画像情報表示 (**P.87**) → ・・・
動画
アイコン表示（切り替えできません）

グリッド表示

静止画撮影モード時に、構図の決定に便利なグリッド線を表示することができます。



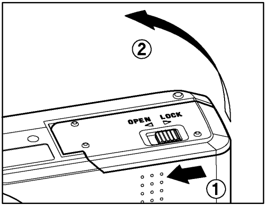
「**撮影設定**」(**P.28**)→「**グリッド表示**」より、好みの表示方法を選択してください。

切	表示なし（初期設定）
— 4 分割	4 分割実線表示
— 9 分割	9 分割実線表示
— 16 分割	16 分割実線表示
--- **4 分割**	4 分割点線表示
--- **9 分割**	9 分割点線表示
--- **16 分割**	16 分割点線表示

カードの入れ方と取り出し方

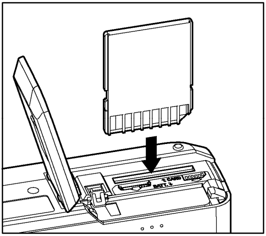
DP1 Merrill は、データの記録にメモリーカードが必要です。使用できるメモリーカードはSD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、マルチメディアカードです。

カードの入れ方



1

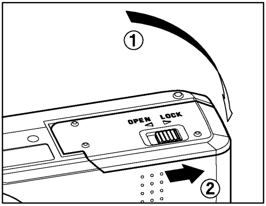
電源が OFF になっているのを確認し、図のように開閉レバーを OPEN 側にスライドさせて、電池／カード室ドアを開きます。



2

電池／カード室内の表示に従ってカードを入れます。

- カチッと音がするまでカードを押し込んでください。



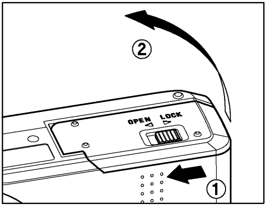
3

図のように電池／カード室ドアを閉め、開閉レバーを LOCK 側にスライドさせてロックします。

メ モ

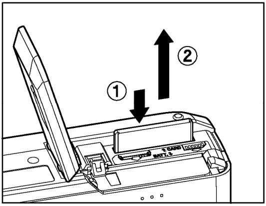
- 必要に応じて使用前にカードを初期化してください。（**P.42** 参照）

カードの取り出し方



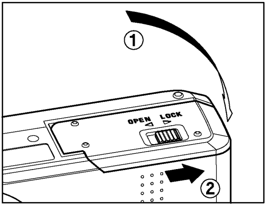
1

電源が OFF になっているのを確認し、図のように開閉レバーを OPEN 側にスライドさせて、電池／カード室ドアを開きます。



2

カードをカチッと音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。



3

図のように電池／カード室ドアを閉め、開閉レバーを LOCK 側にスライドさせてロックします。

警 告 !!

- アクセスランプが点灯している時には、絶対に電池／カード室ドアを開けないでください。電源が落ち、書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

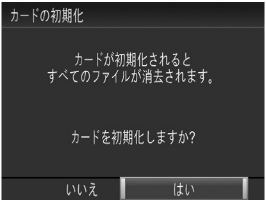
メ モ

- 電源を OFF にしても、カードへのアクセスが終了するまでは、アクセスランプが点灯し、電源が切れません。

カードの初期化

新しいカードは使用する前に初期化しなければなりません。また、他のファイルフォーマットで初期化されている場合や、データが壊れていたり、カードに異常がある場合も使用前に初期化する必要があります。

「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**カードの初期化**」より初期化を行います。



「**カードの初期化**」画面で ◀▶ ボタンを押し、「**はい**」を選択して OK ボタンを押します。

初期化を中止したい場合は ◀▶ ボタンを押して「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

警 告!!

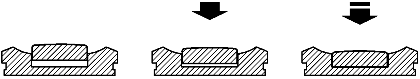
- 初期化はロックされた画像とそれ以外のファイルもすべて消去します。

メ モ

- 他のカメラや機器でカードを初期化すると、DP1 Merrill で正常に動作しなかったり、容量が少なくなっていることがあります。画像を最大限記録するには、使用前に DP1 Merrill で初期化してください。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは 2 段階になっています。



軽く押して止まるところが 1 段目で、カメラが撮影状態になり、ピントの機構が作動します。この状態までシャッターボタンを押すことを“半押し”と言います。半押しの状態からさらに押し込むとシャッターが切れます。

メ モ

- 撮影をする前に、何回かシャッターを切って“半押し”の感覚をつかむと共に、カメラに慣れるように各部を操作して練習することをおすすめします。

- 通常、カメラにカードが入っていない時に、シャッターボタンを押してもシャッターが切れませんが、シャッターが切れるように変更できます。「**カメラ設定**」(**P.28**)→「**カードなしレリーズ**」の項目より設定します。

禁止 (初期設定)	カメラにカードが入っていない時は、シャッターが切れません。
許可	カメラにカードが入っていない時でも、シャッターが切れます。

基本撮影

実際に撮影する上での基本的な操作を説明します。

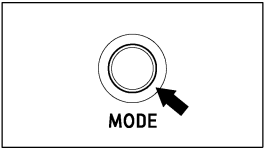
露出のモードを選ぶ

露出を決める 4 つのモードの特徴と操作方法を説明します。

ご注意 !!

- 本章では、「**撮影設定**」メニューの「**機能入換**」が、初期設定の状態を前提に説明しています。説明文と実際の操作方法が異なる場合は、**P.112**「**ダイヤルとボタンの機能入換**」をご覧ください。

露出モードの選び方



1

モードボタンを押します。
（画面下端の露出表示部が、モード選択表示に変わります）



2

コマンドダイヤル、もしくは ◀▶ボタンを押して、希望の露出モードを選びます。

3

OK ボタンを押して撮影状態に戻ります。

P プログラムオート

気軽な撮影にはこのモードを選びます。被写体の明るさに応じて、カメラが最適なシャッター速度と絞りを決めてくれます。



1

露出モードを **P** にセットします。

（露出表示が緑色で表示されます。）

2

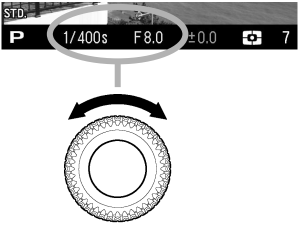
シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

ご注意 !!

- シャッター速度が 1/25 秒より遅い場合、液晶モニタに マークが点灯し、手ぶれをおこしやすい状態になっていることを警告します。フラッシュ撮影 (**P.78**) を行うか、三脚等に固定して撮影してください。
- 明るすぎたり暗すぎた場合、シャッター速度と絞り表示が点滅して警告します。そのまま撮影すると露出が合いません。

プログラムシフト

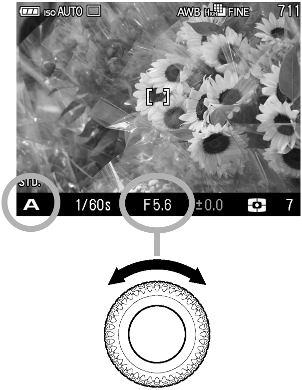
カメラが選んだシャッター速度と絞りの組み合わせを同じ露出を保ったままを変更することができます。希望するシャッター速度と絞りの組み合わせの表示がでるまで、コマンドダイヤルを回してください。



■ 撮影後は自動的に解除されます。

A 絞り優先オート

希望の絞りをセットし、被写体の明るさに応じてカメラが最適なシャッター速度を決めてくれます。絞り込んでピントの合う範囲を広げたり、絞りを開けて背景をぼかすなど、絞りの効果を生かした撮影ができます。



1

露出モードを **A** にセットします。

（絞り値が緑色で表示されます。）

2

コマンドダイヤルを回して希望の絞りを設定します。
（絞りは F2.8～F16 (1/3 段ステップ) の範囲で設定できます。）

3

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ撮影します。

- 設定する絞り値によって、制御されるシャッター速度の範囲が以下のように制限されます。

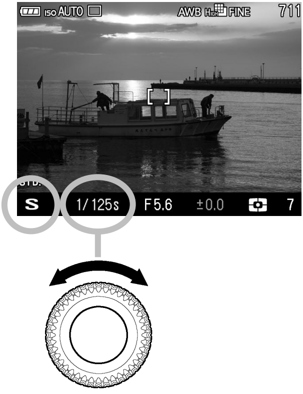
絞り	シャッター速度
F2.8 ~ F3.5	30s ~ 1/1250s
F4.0 ~ F5.0	30s ~ 1/1600s
F5.6 ~ F16	30s ~ 1/2000s

ご注意 !!

- シャッター速度が 1/25 秒より遅い場合、液晶モニタに マークが点灯し、手ぶれをおこしやすい状態になっていることを警告します。フラッシュ撮影（**P.78**）を行うか、三脚等に固定して撮影してください。
- 明るすぎたり暗すぎた場合、シャッター速度表示が点滅して警告します。明るすぎる場合は絞り込み（数字を大きく）、暗すぎる場合は絞りを開けて（数字を小さく）、点滅が消えるように調整してください。

S シャッター速度優先オート

希望のシャッター速度をセットし、被写体の明るさに応じてカメラが最適な絞りを決めてくれます。高速シャッターで動きを止めたり、低速シャッターで動きを表現するなど、シャッター速度の効果を生かした撮影ができます。



1

露出モードを **S** にセットします。

（シャッター速度値が緑色で表示されます。）

2

コマンドダイヤルを回して希望のシャッター速度を設定します。

（シャッター速度は 30 秒～1/2000 秒 (1/3 段ステップ)の範囲で設定できます。）

3

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

- 設定するシャッター速度によって、制御される絞りの範囲が以下のように制限されます。

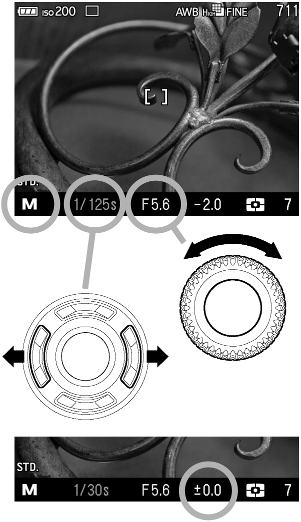
シャッター速度	絞り
30s ~ 1/1250s	F2.8 ~ F16
1/1600s	F4.0 ~ F16
1/2000s	F5.6 ~ F16

ご注意 !!

- 明るすぎたり暗すぎた場合、絞り表示が点滅して警告します。明るすぎる場合はシャッター速度を速くし、暗すぎる場合はシャッター速度を遅くして、点滅が消えるように調整してください。

M マニュアル露出

自分で希望のシャッター速度と絞りをセットします。カメラの露出メーターの数値に基づいて、わざと露出をずらして表現に工夫を加えたり、市販の外部露出計を利用して露出を決める場合などに使用します。



1

モードダイヤルを **M** にセットします。

（シャッター速度値がオレンジ色、絞り値が緑色で表示されます。）

2

コマンドダイヤルを回して希望の絞りを設定します。

3

露出メーターの数値が **±0.0** になるように ◀▶ボタンでシャッター速度を設定します。

- 露出メーターの表示は 1／3 段ステップで±3 段まで表示されます。表示範囲を超えた場合、露出メーターの数字が点滅表示されます。

4

シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

- 設定できるシャッター速度と絞りの組合せは、以下の表のようになります。

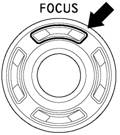
シャッター速度	絞り
30s ~ 1/1250s	F2.8 ~ F16
1/1600s	F4.0 ~ F16
1/2000s	F5.6 ~ F16

- シャッター速度を変更したときに、使用できない絞り値になった場合は、自動的に使用可能な絞り値に変更されます。
- 絞り値を変更したときに、使用できないシャッター速度になった場合は、自動的に使用可能なシャッター速度に変更されます。

ピントを合わせる

オートフォーカスの設定方法や、手動でのピント合わせについて説明します。

フォーカスモードを選ぶ



FOCUS ボタンを押すたびに、AF モード（アイコンなし）と MF モード（MF アイコン）が切り替わります。

オートフォーカスによるピント合わせ



画面中央に被写体をいれてシャッターボタンを半押しします。

- ピントが合うとフォーカスフレームが緑色に変わります。（同時にフォーカスランプが緑色に点灯します）

- ピントが合わない場合、フォーカスフレームが点滅して警告します。（同時にフォーカスランプが赤色で点滅します）
- ピントの合う範囲は無限遠から 20cm です。

オートフォーカスは、次のような被写体にはピントが合わない場合があります。

■白い壁など、コントラストのない被写体
■画面の中央に強い光源がある場合
■動きが速い場合
■フォーカスフレーム内に近くと遠くのものが混在している場合

ピントが合わない時は、ほぼ同距離にある被写体でフォーカスロック撮影をするか、マニュアル（手動）でのピント合わせを行ってください。

フォーカスフレームの設定

DP1 Merrill は、9個のフォーカスフレームから選択する「9点選択モード」と、フォーカスフレームを任意の位置に細かく移動できる「自由移動モード」を備えています。また、フォーカスフレームの大きさをピンポイント、通常、大の 3 種類から選択することができます。

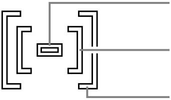
9点選択モード



自由移動モード



フォーカスフレーム移動エリア



設定方法：

▦ ボタンを押します。

- |□| ボタンを押すたびに、「9点選択モード」と「自由移動モード」が切り替わります。
- 「9点選択モード」時は、◀▲▼▶ボタンで任意のフォーカスフレームを選択します。
- 「自由移動モード」時は、◀▲▼▶ボタンで任意の位置にフォーカスフレームを移動します（フォーカスフレーム移動エリアの範囲内で移動できます）。
- コマンドダイヤルを回すと、フォーカスフレームのサイズを変更できます。

OK ボタンを押して確定します。

フォーカスロック撮影

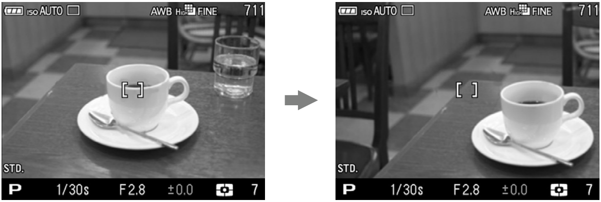
被写体がフォーカスフレームに入らない場合の撮影方法です。

1

フォーカスフレームに被写体を入れてシャッターボタンを半押しし、ピントを合わせます。

2

ピントが合い、フォーカスフレームが緑色に変わったら、シャッターボタンを半押ししたまま、構図を決めて撮影します。



AF+MF モード

オートフォーカスでピントを合わせた後、マニュアルでピントの微調整を行うことができます。

1

「**撮影設定**」(**P.28**)→「**AF+MF**」→「**入**」を選択します。(通常のAF モードが、**AF+MF** モードに切り替わります。)



2

FOCUS ボタンを押して、**AF+MF** モード(AF/MF アイコン)を選択します。

3

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

4

シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを少し回すと、拡大表示になります。そのままフォーカスリングを回して、ピントの微調整を行ってください。

5

フォーカスリングの回転を止めてから､約 1 秒で通常表示に戻りますので、構図を整えて撮影します。

- 通常の AF モードに戻したい場合は、手順 **1** で「**切**」を選択してください。
- 拡大表示は、液晶モニタに表示されているフォーカスフレームを中心として拡大されます。フォーカスフレームの変更は、**P.50** の「フォーカスフレームの設定」を参照してください。

AF リミットモード

DP1 Merrill は、スナップ撮影などに最適な AF リミットモード（ アイコン）を備えています。ピントの合う範囲が無限遠から 1m までになりますが、ピントの合うスピードが速くなります。

1

「**撮影設定**」（**P.26**）→「**AF リミットモード**」→「**入**」を選択します。（フォーカスモードに **AF** リミットモードが追加されます。）



2

FOCUS ボタンを押して、AF リミットモード（ アイコン）を選択します。

- **AF** リミットモードが不要な場合は、手順 **1** で「**切**」を選択してください。

速度優先 AF

DP1 Merrill は、オートフォーカス動作中のライブビューを停止させ、より高速なオートフォーカスを可能にする、速度優先 AF 機能を備えています。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**速度優先 AF**」→「**入**」を選択します。（通常の AF モードが、速度優先 AF モードに切り替わります。）

ご注意 !!

- オートフォーカス動作中は、ライブビューを停止させるため、シャッターボタンを半押ししてからオートフォーカスの動作が終了するまで、静止画像が表示されます。

- 通常の AF モードに戻したい場合は、「**撮影設定**」（**P.28**）→「**速度優先 AF**」→「**切**」を選択してください。

マニュアル（手動）でのピント合わせ

オートフォーカスが苦手な被写体や、フォーカスロックが行えない場合、マニュアルでピントを合わせてください。



1

FOCUS ボタンを数回押して、MF モードにします。（液晶モニタに MF アイコンとスケールバーが表示されます。）

2

フォーカスリングを左右に回し、ピントを合わせたい部分がハッキリ見える位置にあわせます。



- スケールバーの指標両脇の緑の領域は、被写界深度（ピントの合って見える範囲）を示しています。被写界深度は絞りを開けるほど浅く（ピントの合って見える範囲が狭い）なり、絞るほど深くなる（ピントの合って見える範囲が広くなる）性質をもっています。

拡大表示によるピント合わせ

MF モード時に OK ボタンを押すと拡大表示になり、ピントが合わせやすくなります。再度 OK ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- 拡大表示中は液晶モニタに 🔍 アイコンが表示されます。シャッターボタンを半押しすると、拡大表示が一時的に解除されます。
- 拡大表示は、液晶モニタに表示されているフォーカスフレームを中心として拡大されます。フォーカスフレームの変更は、**P.50** の「**フォーカスフレームの設定**」を参照してください。
- 拡大表示中にコマンドダイヤルを回すと、拡大率を変更することができます。（通常は 8 倍ですが、4 倍もしくは 12 倍に変更できます。）

ご注意!!

- スケールバーのピント位置表示、および被写界深度は、実際の距離とは異なる場合があります。あくまでも目安としてお使いください。

メ モ

- スケールバーの目盛の単位を変更することができます。「**🔧カメラ設定**」（**P.28**）→「**MF スケールの単位**」より、**m（メートル）**、**ft（フィート）**のいずれかを選択してください。

ドライブモードを選ぶ

セルフタイマーや連写などの、カメラの動作モードを説明します。



クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ドライブモード**」より設定します。

	1 コマ撮影（初期設定）
	連続撮影
	セルフタイマー2 秒
	セルフタイマー10 秒
	インターバルタイマー
	無限連続撮影

1 コマ撮影



1 コマ撮影

シャッターを押して撮影が終了すると1 コマ分撮影され、次の撮影のスタンバイ状態になります。通常は1 コマ撮影にセットしてください。

連続撮影



連続撮影

シャッターを押し続けている間、連続撮影ができます。

ご注意!!

- 連続撮影された画像データは、一旦カメラ内蔵のバッファーメモリに書き込まれます。バッファーメモリに空き容量がなくなると、それ以上はシャッターが切れなくなります。カメラ内での画像処理が進行し、空き容量ができた時点で次の撮影が可能になります。



液晶モニタ右下の数字はバッファー残量を示しています。連続して撮影できる最大枚数が表示されます。（連続撮影可能枚数が９枚を超える場合は **9** から変化しません。）

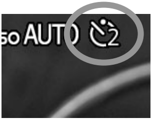
- 連続撮影時の最大撮影コマ数と速度は、おおむね以下のようになります。

		画像サイズ		
		HIGH	MED	LOW
画　質	JPEG	7	14	14
		4.0	5.0	5.0
	RAW	7	14	14
		4.0	5.0	5.0
	RAW+JPEG	7	14	14
		4.0	5.0	5.0

上段は最大撮影コマ数、下段は最大撮影速度 (コマ / 秒)です。

セルフタイマー撮影

記念撮影で撮影者も一緒に写りたい場合や、カメラブレを防ぐ目的で使用することができます。



セルフタイマー2 秒

シャッターボタンを押してから約 2 秒後にシャッターが切れます。



セルフタイマー10 秒

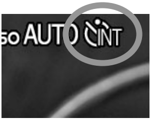
シャッターボタンを押してから約 10 秒後にシャッターが切れます。

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。さらにシャッターボタンを押し込むとセルフタイマーが作動します。作動中は電子音が鳴り、２秒前になると電子音が速くなり知らせます。

■「**カメラ設定**」(**P.28**) → 「**音声設定**」→「**操作音**」の設定が「**切**」に設定されていると、セルフタイマー動作時にも音が鳴りません。

■セルフタイマーを作動中に解除をしたい場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

インターバルタイマー撮影



インターバルタイマー

一定の時間間隔で、自動撮影を行うことができます。

ご注意 !!

- インターバルタイマー撮影は、電池残量により途中で電池切れとなり、撮影が中断することがあります。AC アダプター（別売）のご使用をおすすめします。

1

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ドライブモード**」→「**インターバルタイマー**」を選択し、▶ボタンを押してインターバルタイマー設定画面を表示させます。（「**インターバルタイマー**」を選択した後に、OK ボタンを押すと、前回の設定値がセットされます。）

クイックセットメニュー（**P.35**）からセットする場合は、「INT」を選択し、ボタンを押してインターバルタイマー設定画面を表示させます。（「INT」を選択した後に、OK ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。）



2

◀▲▼▶ボタンで、撮影間隔と撮影回数を設定します。
（設定可能な撮影間隔は 15 秒～60 分、撮影回数は 2～99 回です。）

3

OK ボタンで設定を確定し、MENU ボタンを押して撮影状態に戻ります。

4

シャッターボタンを押して、インターバルタイマー撮影を開始します。

- 撮影が開始されると、次のコマが撮影されるまでの時間と、残り枚数が表示されます。
- インターバルタイマー動作中は、フォーカスランプが緑色で点滅します。
- オートフォーカスで撮影の場合、2 枚目以降も最初の撮影で AF ロックされたピント位置で撮影されます。
- マニュアルフォーカスで撮影の場合、2 枚目以降もフォーカスリングによるピント位置の変更が可能です。

  （2 枚目以降は、拡大表示によるピント合わせはできません。）

  （2 枚目以降、ピント位置をずらしたくない場合は、フォーカスリングを回さないようご注意ください。）

- 露出は撮影のたびに再測光されます。2 枚目以降も 1 枚目と同じ露出で撮影したい場合は、M モード、もしくは AE ロックボタンにより露出を固定して撮影してください。
- 撮影途中でインターバルタイマーを中止する場合は、シャッターボタンを押します。
- インターバルタイマー撮影とオートブラケット撮影は併用できません。

ご注意 !!

- インターバルタイマーは、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。機能を解除するには、「**ドライブモード**」で他のモードに切り替えてください。
- 設定条件によっては画像処理に時間がかかり、設定した時間よりも長いインターバルになることがあります。

無限連続撮影



無限連続撮影

シャッターボタンを押し続けている間、カードがいっぱいになるまで、撮影を続けることができます。

- 画像サイズが無限連写限定サイズ（1632×1088）画質が JPEG FINE に固定されます。
- 最大撮影速度 が約 1.5 コマ / 秒 になります。

ご注意 !!

- バッテリーの容量が少なくなると、連続撮影が中断される場合があります。
- カードによっては、書込みスピードが遅く、連続撮影が中断されることがあります。高速タイプのカードのご使用をお勧めします。

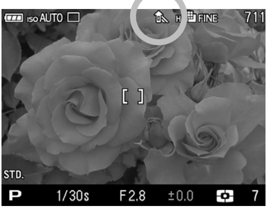
応用撮影

“写真の表現に工夫を加えたい”そんな時に応えてくれる機能の説明をします。

ホワイトバランスの選択（WB）

人間の目は、照明の種類が変わっても、白いものは白く見えるように自動的に調整する能力をもっています。フィルムカメラの場合は、フィルターで調整したり、使用する光源に適したフィルムを選択して対処します。デジタルカメラは、人間の目のような調整能力をソフトウェアでおぎなうことができます。この調整をホワイトバランスと言います。自動的にホワイトバランスを調整する機能をオートホワイトバランスと言います。

- 通常、ホワイトバランスは、初期設定の「**オート**」（**AWB**）により自動調整されますが、マニュアルでセットすることもできます。
- マニュアルでセットする場合は、照明の種類が明らかになっている必要があります。
- マニュアルでセットできる光源の種類は、次ページの表のとおりです。
- 次ページの表内の「**カスタム**」とは、実際の照明下で撮影し、取り込んだ画像を基準としてホワイトバランスを調整する、カスタムホワイトバランスモードです。（**P.61** 参照）



ホワイトバランスには以下のモードがあります。

	モード	色温度	内　容
AWB	**オート** （初期設定）	—	カメラが自動的に最適なホワイトバランスを決定します。通常はこのモードにセットしてください。
	晴れ	約 5400K	晴天の屋外で撮影するときに選択します。
	日陰	約 8000K	晴天の屋外の日陰などで撮影するときに選択します。
	くもり	約 6500K	曇天の屋外などで撮影するときに選択します。
	白熱電球	約 3000K	白熱電球の照明下で撮影するときに選択します。
	蛍光灯	約 4100K	白色蛍光灯下で撮影するときに選択します。
	フラッシュ	約 7000K	エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL を使用して撮影するときに選択します。
	カスタム	—	実際に取り込んだ画像を基準とし、ホワイトバランスが設定されます。(**P.61**)

クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ホワイトバランス**」より設定します。

カスタムホワイトバランスの設定

カスタムホワイトバランスは、実際に取り込んだ画像を基準として、ホワイトバランスを設定する方法です。

1

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ホワイトバランス**」→「**カスタム**」を選択し、▶ボタンを押して、カスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。（「**カスタム**」を選択した後に、OKボタンを押すと、前回取り込まれた設定値で撮影されます。）

クイックセットメニュー（**P.35**）からセットする場合は、「」を選択し、ボタンを押して、カスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。（「」を選択した後に、OKボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回取り込まれた設定値で撮影されます。）

2

実際に撮影を行いたい照明下で、基準にしたい白い被写体(白い紙や、白い壁など）を画面中央の枠に入れてシャッターボタンを押します。

取り込みがうまくいった場合は「**ホワイトバランス画像の取り込みに成功しました。**」とメッセージが表示されます。

「**取り込みに失敗しました！･･･**」とメッセージが出た場合は、再度シャッターボタンを押してください。
中止したい場合は MENU ボタンを押してください。

ISO 感度の設定



フイルムカメラで、用途に合わせて感度の違うフィルムを選ぶように、撮影時の感度を選択することができます。（ISO 感度 **P.120** 参照）

クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ISO 感度**」より設定します。

ISO オート (ISO AUTO)（初期設定）	**ISO 800**
ISO 100	**ISO 1600**
ISO 200	**ISO 3200**
ISO 400	**ISO 6400**

ご注意 !!

- **M** モード時、「**ISO オート**」は選択できません。**S**、**A**、**P** モード時に 「**ISO オート**」を選択した場合、**M** モード時は **ISO200** で撮影されます。

ISO オート範囲設定



ISO オートにおける ISO 感度の下限、および上限を設定することができます。

1

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ISO 感度**」→「**ISO オート**」を選択し、▶ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。（「**ISO オート**」を選択した後に、OK ボタンを押すと、前回の設定値がセットされます。）

クイックセットメニュー（**P.35**）からセットする場合は、「**ISO AUTO**」を選択し、I□I ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。（「**ISO AUTO**」を選択した後に、OK ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。）

2

「**下限**」、「**上限**」をそれぞれ設定します。

下限

ISO 100	**ISO 400**
ISO 200（初期設定）	

上限

ISO 200	**ISO 1600**
ISO 400	**ISO 3200**
ISO 800（初期設定）	**ISO 6400**

ご注意 !!

- 下限と上限が同じ値、もしくは逆転した値をセットすることはできません。

ISO 感度の設定は、通常 1 段ステップですが、1/3 段ステップに変更することができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ISO 感度ステップ**」より設定します。

1 段（初期設定）	ISO 感度を 1 段ステップで設定できます。
1/3 段	ISO 感度を 1/3 段ステップで設定できます。

1/3 段に設定した場合に、設定できる ISO 感度は、以下のようになります。

ISO AUTO	**ISO 250**	**ISO 800**	**ISO 2500**
ISO 100	**ISO 320**	**ISO 1000**	**ISO 3200**
ISO 125	**ISO 400**	**ISO 1250**	**ISO 4000**
ISO 160	**ISO 500**	**ISO 1600**	**ISO 5000**
ISO 200	**ISO 640**	**ISO 2000**	**ISO 6400**

メ　モ

- 「**1/3 段**」セットした場合、ISO オート範囲設定の下限、上限の設定値も 1/3 段ステップで設定できます。

画像の設定

記録画像は、使用目的によって、“画像サイズ”と“画質”を変更することができます。

		画像サイズ		
		HIGH 4704×3136	**MED** 3264×2176	**LOW** 2336×1568
画　質	**RAW** (RAW)	約 45 MB	約 24 MB	約 12 MB
	FINE (JPEG)	約 10 MB	約 5 MB	約 2.5 MB
	NORM (JPEG)	約 5.6 MB	約 2.7 MB	約 1.4 MB
	BASIC (JPEG)	約 4.2 MB	約 2 MB	約 1 MB

＊ファイルサイズは被写体によって変化します。

画質について

DP1 Merrill は、現像ソフト“**SIGMA Photo Pro**”による現像が必要な **RAW** 形式と、汎用性の高い **JPEG** 形式のいずれかで画像を記録することができます。

RAW 形式は、カメラ内でデジタル的な処理は行わず、素材性を重視した記録方式です。**SIGMA Photo Pro** による現像作業が必要ですが、**SIGMA Photo Pro** で汎用性の高い **JPEG** 形式や **TIFF** 形式に変換できます。

画像サイズの設定



クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**画像サイズ**」より設定します。

HIGH（初期設定）	**MED**	**LOW**

画質の設定



クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「📷 **撮影設定**」（**P.28**）→「**画質**」より設定します。

FINE (JPEG)（初期設定）	**NORM** (NORMAL)(JPEG)
BASIC (JPEG)	**RAW** (RAW)
RAW+JPG (RAW+FINE(JPEG)同時記録)	

メ　モ

- **RAW+JPG** に設定した場合、JPEG の画質は **FINE** となります。
- **RAW+JPG** に設定した場合、RAW、JPEG 共、設定された画像サイズで記録されます。

カラースペース

一般的な色空間である sRGB か、主に商用印刷など業務分野で使われている Adobe RGB を選択することができます。

「📷 **撮影設定**」（**P.28**）→「**カラースペース**」より設定します。

sRGB（初期設定）	**Adobe RGB**

ご注意!!

- 通常、カラースペースは sRGB に設定してください。Adobe RGB に設定された画像を扱う場合は、必ず **SIGMA Photo Pro** か、DCF2.0 に準拠したソフトを利用してください。

ピクチャーセッティング

好みの画像に仕上がるように、画像のパラメーター（コントラスト、シャープネス、彩度）を調整することができます。

◑ コントラスト

+側にすると明暗差が強くなり、メリハリの効いた画像になります。–側にすると明暗差が弱くなり、白飛びや黒つぶれを少なくすることができます。

シャープネス

+側にすると輪郭のはっきりとした鮮明な画像になります。–側にすると輪郭のやわらかいソフトな画像になります。

彩度

+側にすると彩度が高くなり、色鮮やかな画像になります。–側にすると彩度が低くなり、落ち着いた画像になります。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**ピクチャーセッティング**」より設定します。



ピクチャーセッティング画面で、⬘ボタンを押して「**コントラスト**」、「**シャープネス**」、「**彩度**」のいずれかを選択し、◀▶ボタンで調整量をセットします（0.2 段ステップで±1.0 まで調整できます）。

確定する場合は OK ボタンを、変更しない場合はMENU ボタンを押してください。



パラメーターを調整すると、画面左側に調整中のパラメーターアイコンと調整量が表示されます。

メ モ

- JPEG データの場合、パラメーター調整が行われた後に圧縮処理されます。RAW データの場合、画像には調整が行われずにパラメーター情報が記録されます。**SIGMA Photo Pro** でデータを展開したときに反映され、**SIGMA Photo Pro** 上でも再調整を行うことができます。

測光モード



被写体の状況に合わせ、３つの測光方式を選べます。

クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**測光モード**」より設定します。

	評価測光 （初期設定）
[ ]	**中央重点測光**
[•]	**スポット測光**

評価測光

画面を 256 分割し、それぞれの部分の測光情報をもとにカメラが被写体の状況を判断して最適な露出を算出します。逆光や露出決定が難しい光線状態でも最適となる露出を判断します。（通常はこのモードにセットしてください。）

[ ] 中央重点測光（中央部重点平均測光）

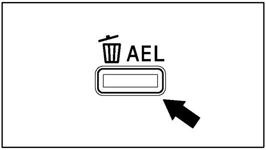
画面中央部分にウエイトを置き、画面全体の平均的な明るさを算出します。順光などの比較的光線状態が良い場合に、最適な露出がえられます。

[•] スポット測光

中央フォーカスフレームの範囲内の明るさのみを算出します。周辺の明るさに影響されず、被写体の特定のポイントに露出を定めたいときに有効です。

AE ロック

AEL ボタンを押すと、その時の露出が固定されます。画面中央部に写したい被写体が無い場合などに便利です。特に、スポット測光との組合わせで有効です。





1

露出を合わせたい部分を画面の中央部に合わせ AEL ボタンを押します。

（露出が固定され、画面中央上側に **AEL** アイコンが表示されます。）

2

好みの構図にしてシャッターを切ります。

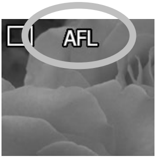
- もう 1 度 AEL ボタンを押して AE ロックを解除するまで、何枚でも同じ露出で撮影できます。

AE ロックボタンの割り当て

AEL ボタンは、通常の AE ロック機能のほかに、フォーカスロック機能を割り当てることができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**AEL ボタンの設定**」より設定します。

AEL（初期設定）
中央 AFL
中央 AFL+AEL



中央 AFL

ボタンを押すと、中央のフォーカスフレームでピント合わせがスタートし、AF ロックされます。（露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。）



中央 AFL＋AEL

ボタンを押すと、中央のフォーカスフレームでピント合わせがスタートし、AF ロックと AE ロックが同時に行われます。

半押しレリーズ AEL

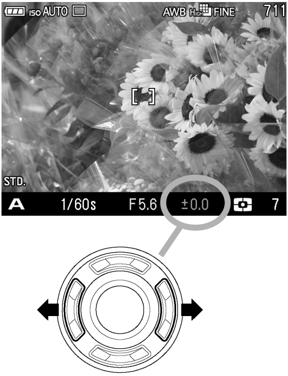
シャッターボタンを半押しした時に、露出を固定する、もしくは固定しない設定を選ぶことができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**半押し AEL**」より設定します。

切	シャッターボタンを半押しした時点では露出が固定されません。全押しした時点の露出で撮影されます。
入 （初期設定）	シャッターボタンを半押しした時点の露出が固定されます。半押し状態で構図を変えても、半押しした時点の露出で撮影されます。

露出補正

カメラが判断した適正露出に対し、意図的に明るめにしたり、暗めにしたい場合、この機能を使います。



◀▶ボタンで補正量をセットします。

- 補正量は 1／3 段ステップで、±3 段までできます。

ご注意!!

- 露出補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら ◀▶ボタンを押して、補正量を±0.0 に戻してください。
- 露出補正は **M** モードとの併用はできません。

オートブラケット撮影

カメラが判断した適正露出をはさんで、明るめと暗めに露出をずらした写真を連続で撮ることができます。







1

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**オートブラケット**」→「**ずらし量**」を選択し、▶ボタンか OK ボタンを押します。

2

◆ボタンで、ずらし量をセットします。

- ずらし量は、1／3 段ステップで±3 段まで設定できます。



3

OK ボタンを押して確定し、シャッターボタンを半押しして撮影状態に戻ります。（画面左端に、オートブラケットアイコンが表示されます。）

■ 初期設定では、適正 → アンダー → オーバー の順序で撮影されます。

■ 各ドライブモードでの動作は以下のようになります。

1 コマ撮影	シャッターボタンを押すごとに 1 コマずつ撮影されます。
連続撮影	シャッターボタンを押し続けると 3 枚連続撮影されます。
セルフタイマー 2 秒	シャッターボタンを押した後、2 秒後に 3 枚連続撮影されます。
セルフタイマー 10 秒	シャッターボタンを押した後、10 秒後に 3 枚連続撮影されます。
無限連写	シャッターボタンを押し続けている間、3 枚連続撮影がくり返されます。

- インターバルタイマー撮影との併用はできません。

■ 各露出モードでの補正は以下のように行われます。

P モード	シャッター速度と絞りが共に変化します。
A モード	シャッター速度が変化します。
S モード	絞りが変化します。
M モード	設定したシャッター速度を中心としてシャッター速度が変化します。

ご注意!!

- オートブラケット機能は自動的に解除されません。撮影が完了したら同じ手順でずらし量を±**0.0** に戻してください。
- オートブラケット機能はフラッシュ撮影と併用できません。

■ オートブラケットアイコンが以下のように変化し、何コマ目の撮影かがわかります。

1 コマ目	2 コマ目	3 コマ目
		

■ オートブラケットの撮影順序を変更することができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**オートブラケット**」→「**順序**」より設定します。

0 → – → + （初期設定）	（適正 → アンダー → オーバー）
– → 0 → +	（アンダー → 適正 → オーバー）
+ → 0 → –	（オーバー → 適正 → アンダー）

オートブラケットは露出補正と組み合わせて使用できます。

カメラが判断した適性露出に対して、明るめや暗めな露出を基準にしたオートブラケット撮影ができます。前記の手順に従って、露出補正とオートブラケットの両方の設定を行ってください。どちらを先にセットしても結構です。

例えば、露出補正量＋1.7、オートブラケットのずらし量を 1.0 とセットした場合の動作は以下のようになります。

1 コマ目	**+1.7**　露出補正量＋1.7、ずらし量なし
2 コマ目	**+0.7**　露出補正量＋1.7 と、ずらし量−1.0 の合成値
3 コマ目	**+2.7**　露出補正量＋1.7 と、ずらし量＋1.0 の合成値

カラーモード

各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモードを選択できます。また、セピア調、モノクロー厶調の写真を撮ることができます。

クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**📷 撮影設定**」（**P.28**）→「**カラーモード**」より設定します。

STD. **スタンダード** （初期設定）	さまざまなシーンに対応する基本的なカラーモードです。
VIVID **ビビッド**	彩度、コントラストが高めに設定され、鮮やかな印象に表現します。
NTR. **ニュートラル**	彩度、コントラストが控えめに設定され、落ち着いた雰囲気を再現します。
PORT. **ポートレート**	肌の階調を柔らかく表現する、人物撮影に適したモードです。
LAND **風景**	青空や緑をより鮮やかに表現し、メリハリのある風景を再現します。
B/W **白黒**	白黒（無彩色）の写真を撮ることができます。
SEPIA **セピア**	セピア調のモノトーンの写真を撮ることができます。



- 画面左側に、設定されたカラーモードのアイコンが表示されます。

メ モ

- カラーモードは、ピクチャーセッティングを併用することにより、より自分好みの写真に近づけることができます。例えば、ビビッドモードで彩度を + 側に調整すると、より鮮やかさを増すことができます。

ご注意 !!

- カラーモードの白黒とセピアは、画質の設定が JPEG（**FINE**, **NORM.**, **BASIC**）の時のみ設定できます。
- カラーモードが白黒とセピアに設定されている時に、画質を **RAW**、もしくは **RAW+JPG** に変更すると、カラーモードが自動的に **STD.**（スタンダード）に切り替わります。

縦位置情報記録

縦位置で撮影された情報を画像に記録することができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**縦位置情報記録**」より設定します。

切	縦位置情報を記録しない
入（初期設定）	縦位置情報を記録する

- 縦位置情報が記録された画像は、再生時に自動的に縦方向に回転されて表示されます。
- 縦位置情報が記録された画像を **SIGMA Photo Pro** で開いた場合、自動的に縦方向に回転されて表示されます。
- 縦位置情報が記録された画像を「**再生メニュー**」の「**回転**」で向きを変更した場合、その後は変更された状態で表示されます。

ご注意!!

- カメラを斜めに構えたり、上向き、下向きで撮影した場合、縦位置情報が正しく記録されない場合があります。

カスタムモード

好みの設定を登録し、モードボタンで簡単に呼び出すことができます。（3 つのパターン登録することができます。）

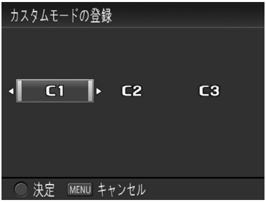
以下の項目の設定を一括登録できます。

- 「**撮影設定**」（青タブ）（**P.28**）の項目すべて
- 露出モード（**M**, **S**, **A**, **P**）
- フォーカスフレームの設定（**P.50**）
- 露出補正 （**P.71**）

ご注意 !!

- 動画モードは登録できません。

設定の保存



1

前記の項目を一通り好みの状態に設定します。

2

「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**カスタムモードの登録**」より、◀▶ボタンで **C1**、**C2**、**C3** のいずれかを選び、OK ボタンを押して確認メッセージを開きます。

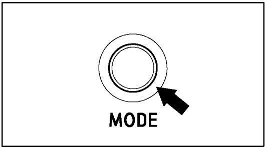
3

確定する場合は OK ボタンを、変更しない場合はMENU ボタンを押してください。

ご注意 !!

- 保存を確定すると、以前に保存されていた設定は、新しい設定に上書きされます。

設定の呼出し





モードボタンで **C1**、**C2**、**C3** のいずれかにセットします。

カスタムモード時に、前記項目の設定を一時的に変更することができます（露出モードを除く）。



変更するとファンクション画面のカスタムモード表示部に★マークが点灯します。

以下の操作により、変更した設定内容はクリアされます。

- 電源を OFF にする（オートパワーオフ機能で OFF になった場合も含む）
- モードボタンで他のモードに変更する

フラッシュを使う

夜間の撮影に便利な専用小型フラッシュ（別売り）の操作方法を説明します。

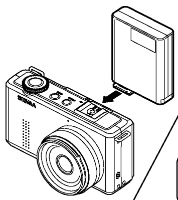
外部フラッシュ撮影について

DP1 Merrill は外部フラッシュを取り付けることができるホットシューを備えており、自動調光撮影ができる専用小型フラッシュが用意されています。

エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL（別売）

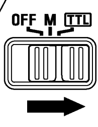
- 余裕の発光量（最大ガイドナンバー14（ISO100））により、夜間の撮影範囲を広げることができます。
- S-TTL 方式による自動調光撮影が可能です。
- 単 4 形ニッケル水素電池（推奨）を 2 本使用。DP1 Merrill とベストマッチの小型軽量設計です。
- 自動調光撮影に加え、マニュアル発光も可能です。
- シグマデジタル一眼レフカメラ SD1 / SD15 / SD14 にもご使用になれます。S-TTL 方式による自動調光撮影が可能です。

フラッシュ撮影



1

カメラの電源を OFF にし、フラッシュの説明書に従って、カメラにフラッシュを取り付けます。



2

カメラの電源を ON にし、フラッシュの電源スイッチを TTL にセットします。



3

液晶モニタのフラッシュモードのアイコンが点灯していることを確認して撮影します。

ご注意 !!

- フラッシュの充電中はフラッシュモードのアイコンとフォーカスランプ（赤）が点滅し、シャッターが切れません。

■フラッシュで撮影できる範囲は以下の通りです。（**P** モード時）

ISO 感度	フラッシュ調光範囲
ISO100	0.2m 〜 5.0m
ISO200	0.2m 〜 7.1m
ISO400	0.2m 〜 10.0m
ISO800	0.2m 〜 14.1m
ISO1600	0.2m 〜 20.0m
ISO3200	0.2m 〜 28.3m
ISO6400	0.2m 〜 40.0m

メ モ

- ISO 感度の設定を「**ISO オート**」にセットしてフラッシュ撮影を行う場合、「**ISO オート範囲設定**」の「**下限**」でセットした値で撮影されます。

フラッシュモードの設定

通常のフラッシュ撮影のほかに、赤目緩和モードや調光補正などが設定できます。

クイックセットメニュー（**P.35**）、もしくは「**撮影設定**」（**P.28**）→「**フラッシュ**」→「**フラッシュモード**」より設定します。

⚡	**通常発光**（初期設定）
👁	**赤目発光**
⚡ SLOW	**スローシンクロ**
👁 SLOW	**赤目発光＋スローシンクロ**

⚡ 通常発光モード

通常のフラッシュ撮影が行われます。

■通常はこのモードに設定してください。

👁 赤目緩和モード（赤目発光）

フラッシュを使用して人物を撮影すると、瞳が赤く写ることがあります。赤目緩和モードはシャッターが切れる前に数回のプリ発光を行い、赤目現象を緩和することができます。

■撮影条件や個人差により、完全に赤目現象を除去できない場合があります。

⚡SLOW 👁SLOW スローシンクロモード

P / **A** モード時のフラッシュ撮影では、シャッター速度が手ぶれを起こしにくいシャッター速度(1/30 秒以上)に制限されますが、スローシンクロモードに設定すると、明るさに応じて 30 秒までのスローシャッターで制御されます。夜景と人物の両方に露出の合った写真を撮ることができます。

ご注意 !!

- フラッシュモードは、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態では設定できません。
- フラッシュ側のモードをマニュアル発光にセットした場合、赤目緩和モードは使用できません。

調光補正

背景の露出には影響を与えずに、フラッシュの光量のみ補正することができます。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**フラッシュ**」→「**調光補正**」より設定します。

⬍ボタンで補正量をセットします。

•補正量は 1／3 段ステップで、±3 段までできます。



•調光補正を設定すると、画面左側に調光補正アイコンと補正量が表示されます。

ご注意!!

- 調光補正は、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態では設定できません。
- 調光補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら、上記手順にて補正量を**±0.0** に戻してください。

撮影画像の再生、消去

ここでは、撮影した画像の再生や消去の仕方について説明します。

メ モ

- 他のカメラで撮影した画像や、ファイル名を変更したり、カード内の DCIM フォルダから移動させた画像ファイルは、表示できない場合があります。

撮影画像確認

DP1 Merrill では、撮影後すぐに液晶モニタに画像を自動的に表示させることができます。この機能は、露出や構図を即座にチェックするのに役立ちます。

撮影画像確認時間の設定

撮影直後の画像を液晶モニタに表示させる時間を設定します。

「**撮影設定**」（**P.28**）→「**撮影画像確認**」より設定します。

撮影画像確認時間設定項目

切	表示しません
eco **2 秒** （初期設定）	2 秒間表示します。
5 秒	5 秒間表示します。
10 秒	10 秒間表示します。

- eco マークは、電池の消耗を抑える推奨の設定であることを表しています。

メ モ

- 手動で撮影画像確認画面の表示を消す場合は、シャッターボタンを半押ししてください。

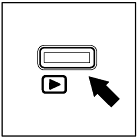
ご注意 !!

- 撮影画像確認画面では、拡大表示、他の画像への切りかえはできません。

撮影画像の再生

DP1 Merrill で撮影した画像を様々な方法で再生することができます。

DP1 Merrill で撮影した画像を再生するには、本体背面の ▶ ボタンを押します。カードに最後に記録された画像が、液晶モニタに表示されます。



▶ボタンを押すと、画像が再生されます。

再度 ▶ ボタンを押すと撮影状態に切り替わります。

メ モ

- 電源 OFF の状態でも、約 2 秒間 ▶ ボタンを押し続けると電源が入り、画像が再生されます。
- 撮影画像を再生してから新たに撮影した画像がない場合は、最後に再生した画像が表示されます。
- カードに画像がない場合は、"**画像がありません**" と警告表示されます。
- 画像の再生中でも、▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影を始めることができます。

1 画像再生

記録された画像を見るには、本体背面の ▶ ボタンを押します。

1 画像再生中は：

- ▶ボタンを押すと、次の画像を表示します。
- ◀ボタンを押すと、前の画像を表示します。
- I□I ボタンを押すと、情報表示が切り替わります（**P.39**）。

撮影日時表示

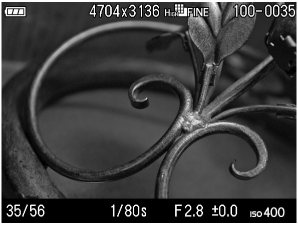
1 2 3 4



5 6 7

撮影データ表示

1 2 3 4



5 8 9 10 11

1	電池残量表示
2	画像サイズ
3	画質
4	フォルダ番号ーファイル番号
5	ファイル順 / ファイル数
6	年 / 月 / 日

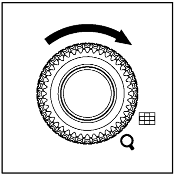
7	時 / 分 / 秒
8	シャッター速度
9	絞り値
10	露出補正値
11	ISO 感度

メ モ

- ◀▶ボタンを押したままにすると、より速く画像を切り替えることができます。画像の切替えは、ボタンを離すまで自動的に行われます。
- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の画像で ◀ボタンを押すと最後の画像が表示されます。また、最後の画像で ▶ボタンを押すと最初の画像が表示されます。

拡大して表示する（拡大表示）

画像を拡大表示することができます。画像を詳細に見たり、ピントのチェックに便利です。



1 画像再生中にコマンドダイヤルを 🔍 側に回します。

拡大率は以下の通りです。
等倍→**X1.25→X1.6→X2.0→X2.5→X3.15→X4.0→X5.0→X6.3→X8.0→X10.0**

拡大表示中は：

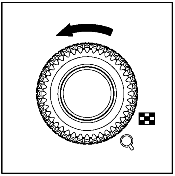
- コマンドダイヤルを 🔍 側に回すとより拡大されます。▦ 側に回すと縮小されます。
- ▲▼ボタンで上下方向に、◀▶ボタンで左右方向に再生部分を移動できます。
- OK ボタンを押すと等倍に戻ります。

ご注意 !!

- 拡大表示中は ◀▶ ボタンで画像を切替えることはできません。コマンドダイヤルを ▦ 側に回す、もしくは OK ボタンを押して等倍（1 画像再生）に戻ると、画像の切替えができるようになります。

9 画像表示（コンタクトシート表示）

9 画面表示の「コンタクトシート」では、複数の画像を一度に表示することができます。



1 画像再生中にコマンドダイヤルを ▦ 側に回します。



コンタクトシート表示では：

- ◀▲▼▶ ボタンで他のサムネイル画像の選択ができます。
- コマンドダイヤルを 🔍 側に回すと、選択されているサムネイル画像が 1 画像再生されます。

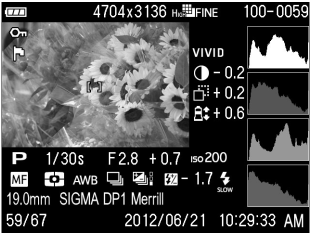
メ モ

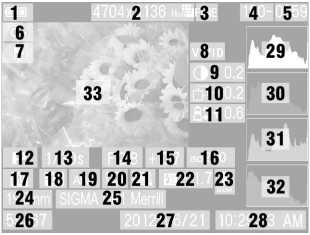
- 最初のページと最後のページはリンクしています。最初のページの前は最後のページ、最後のページの次は最初のページが表示されます。

画像情報を見る

撮影された画像の詳細情報を見ることができます。シャッター速度や絞り値以外に、測光モードやフォーカスモードなど、詳細な情報が表示されます（画像情報スクリーン）。

1 画像再生中に IOI ボタンを数回押します。





1	電池残量表示
2	画像サイズ
3	画質
4	フォルダ番号
5	ファイル番号
6	ロック ※
7	マーク ※
8	カラーモード
9	コントラスト
10	シャープネス
11	彩度
12	露出モード
13	シャッター速度
14	絞り値
15	露出補正値
16	ISO 感度
17	フォーカスモード ※

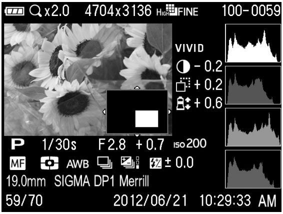
18	測光モード
19	ホワイトバランス
20	ドライブモード
21	オートブラケット ※
22	調光補正値
23	フラッシュモード
24	レンズ焦点距離
25	カメラ名
26	ファイル順 / ファイル数
27	年月日
28	時分秒
29	ヒストグラム（輝度）
30	ヒストグラム（赤）
31	ヒストグラム（緑）
32	ヒストグラム（青）
33	フォーカスフレーム

※設定時のみ表示されます。

画像情報スクリーンでは：

- 再度 ▢ ボタンを押すと、通常の１画像再生表示に戻ります。
- １画像再生と同様に、◀▶ボタンで画像の切替えができます。

画像情報スクリーンでの拡大表示



画像情報スクリーンの表示中にコマンドダイヤルを 🔍 側に回すと画像が拡大され、特定領域の詳細なヒストグラム情報を見ることができます。

- ヒストグラムについての詳細は次の項目をご覧ください。

画像情報スクリーンでの拡大表示中は：

- ▲▼ボタンで上下方向に、◀▶ボタンで左右方向に再生部分を移動できます。（ヒストグラム値が自動的に変わります。）
- コマンドダイヤルを 🔍 側に回すとより拡大されます。▦ 側に回すと縮小されます。
- OK ボタンを押すと、拡大表示を解除しフル画像の画像情報スクリーンが表示されます。

ご注意 !!

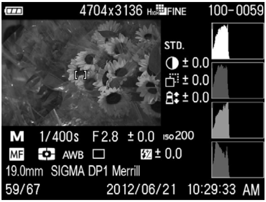
- 拡大表示中は ◀▶ボタンで画像を切替えることはできません。コマンドダイヤルを ▦ 側に回す、もしくは OK ボタンを押して等倍に戻ると、画像の切替えができるようになります。

ヒストグラム

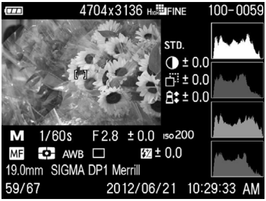
ヒストグラムは、画像の明るさの分布をグラフ表示にしたものです。水平軸は明るさのレベルを示し、左方向ほど暗く、右方向ほど明るくなります。垂直軸は各明るさの画素の登場回数を表しています。グラフの分布状態を見ることにより、露出の判断の参考にすることができます。

DP1 Merrill のヒストグラム表示は、R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。（撮影モード時に表示されるヒストグラムは RGB を合わせた値です。）

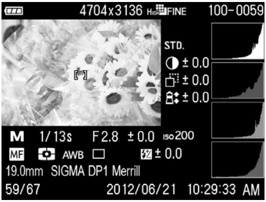
フル画像時のヒストグラムを調べることによって、画像全体の露出を判断することができます。また、拡大表示でのヒストグラムを見ることにより、任意の部分の露出を判断することもできます。



このヒストグラムは、画素の分布が暗い方向にかたより、明るい方向に殆ど存在していません。従って露出不足で全体に暗めの画像であることを示しています。一般に左側にかたよっているヒストグラムは、上記のように露出が不足している場合か、もしくは適正露出でも、暗い部分や暗めの被写体が画面に占める割合が大きく、暗い画素で構成された画像の場合です。



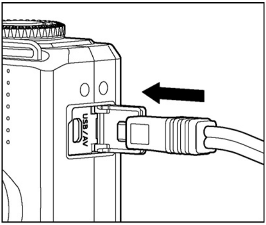
このヒストグラムは、ほぼ均一に画素が分布されており、適正に露出された画像であることを示しています。ただしヒストグラムは、被写体の色や画面に占める割合などによって大きく左右されますので、一概に適正露出であるとは限りません。

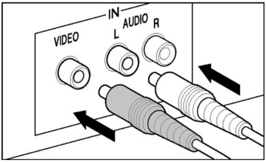


このヒストグラムは、画素の分布が明るい方向にかたより、右端に多くの画素が存在しています。従って露出オーバーで全体に明るめ画像であることを示しています。一般に、右側にかたよっているヒストグラムは、上記のように露出がオーバーしている場合か、もしくは適正露出でも明るい部分や明るめの被写体が画面に占める割合が大きく、明るい画素で構成された画像の場合です。

テレビで見る

DP1 Merrill では、付属の AV ケーブルを使用してテレビやビデオデッキ、DVD レコーダーなどに接続し、記録した画像をテレビで見たり、ビデオや DVD などに録画することができます。





ビデオ機器との接続

1

カメラの USB / AV カバーを開きます。

2

AV ケーブルをカメラの＜**USB / AV**＞端子に接続します。

3

AV ケーブルの黄色のジャックをテレビの映像端子に、白のジャックを音声端子に接続します。

4

カメラとビデオ機器の電源を入れます。

警 告 !!

- ビデオ機器との接続には、付属の専用ビデオケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルを使用すると、故障の原因になることがあります。

メ モ

- 電池の消耗を防ぐため、別売りの AC アダプターを使用することをお薦めします。
- ビデオ出力のモードは、初期設定では NTSC 方式になっています。PAL 方式の機器に接続する場合は、セットアップメニューでビデオ出力のモードを PAL 方式に変更してお使いください。（**P.121** 参照）

ファイルの消去

カードに記録されたファイルを消去する方法を説明します。

ご注意 !!

- この章では、カードに記録された画像、動画を「ファイル」と表しています。

消去ボタンで消去する



🗑（消去）ボタンでは、現在表示中のファイルのみ消去できます。

1
消去したいファイルを表示します。

2
🗑ボタンを押します。（「**このファイルを消去しますか？**」と確認メッセージが表示されます）

3
◀▶ボタンで「**はい**」を選択し、OK ボタンを押して確定します。中止したい場合は、◀▶ボタンで「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

ご注意 !!

- ファイルがロックされている場合は、「**このファイルはロックされています。**」と確認メッセージが表示され、消去から保護されます。消去したい場合は、はじめにロックを解除してください。（**P.93-95** 参照）
- **RAW+JPG** で記録された画像は、RAW 画像、JPEG 画像共に消去されます。

消去メニューからファイルを消去する

消去メニューからはひとつのファイル、あるいは複数のファイルをまとめて消去することができます。

1

画像の表示中に MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」(**P.28**)を開き「**消去**」を選択します。

2

サブメニューで、以下のいずれかの方法を選択します。

現在のファイル	現在の 1 ファイルのみ消去します。
マーク画像 ※	カード内に記録されたマークした画像をすべて消去します。(画像のマークについては **P.96 - 98** をご覧ください。)
全画像 ※	カードに記録されたすべてのファイルを消去します。(ロックされたファイルは消去されません。画像のロックについては **P.93 - 95** をご覧ください。)

※ マーク画像、および全画像の消去は、画像を表示していないときでも実行可能です。

3

OK ボタン、もしくは▶ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

4

◀▶ボタンで「**はい**」を選択し、OK ボタンを押して確定します。中止したい場合は、◀▶ボタンで「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

メ　モ

- ロックとマークがかけられた画像は、「**マーク画像**」では消去できません。ロックされた画像は初めにロックを解除してください。マークされた画像はロックされない限り消去から保護されません。

ご注意 !!

- 「**マーク画像**」および「**全画像**」の消去は、カード内のファイル数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

再生時のその他の機能

スライドショー、ロック、マーク、回転などの機能を説明します。

ファイルをロックする



ロックは、誤ってファイルを消去することを防ぎます。

（ロックしたファイルを消去する場合は、ロックを解除しなければなりません。）

ロック設定オプション

ロック／ロック解除	現在選択されているファイルのみをロックします。既にロックされている場合は、「ロック解除」と表示されます。
⚑ ロック	マークされた画像をすべてロックします。（画像のマークは **P.96 - 98** をご覧ください。）
全ロック	すべてのファイルをロックします。
⚑ ロック解除	マークされた画像をすべてロック解除します。（画像のマークは **P.96 - 98** をご覧ください。）
全ロック解除	すべてのファイルのロックを解除します。

警 告 !!

- ロックされていても、カードの初期化を行うとファイルは消去されます。カードの初期化を行うときは十分注意してください。

メ モ

- ロックされたファイルは、パソコンでは「読み取り専用」と表示されます。

ひとつのファイルのロック

1

ロックしたいファイルを表示します。

2

MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」（**P.28**）を開き「**ロック**」を選択します。（サブメニューのオプションが「**ロック**」が選択された状態になっています）

3

OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押します。



- ロックされたファイルに 🔑 マークが表示されます。

メ モ

- ロックを解除するには、ロックされたファイルを選択し、上記と同じ手順で解除します。

複数ファイルのロック

1

MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」(**P.28**)を開き「**ロック**」を選択します。

2

サブメニューで「**⚑ロック**」、もしくは「**全ロック**」を選択します。

3

OK ボタン、もしくは▶ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

4

◀▶ボタンで「**はい**」を選択し、OK ボタンを押して確定します。中止したい場合は、◀▶ボタンで「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

- ロックされたファイルにはすべて、🔑マークが表示されます。

メ　モ

- 複数のファイルをロック解除するには、ロックメニューの「**全ロック解除**」 か 「**⚑ロック解除**」を選択します。
- OK ボタンをロックのショートカットボタンに設定することができます。(**P.100** 参照)
- 複数ファイルのロック、およびロック解除は、画像を表示していないときでも実行可能です。

ご注意 !!

- 「**⚑ ロック**」および「**⚑ ロック解除**」は、カード内のファイル数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

画像をマークする



画像をマークすると、お気に入りの画像の区分け、スライドショー用の画像の選別、消去メニューの「マークしたファイルをすべて消去」（**P.96-98**）で消去する等、画像の選別に便利です。

マーク設定オプション

マーク／マーク解除	現在選択されている画像のみマークします。既にマークされている場合は、「**マーク解除**」と表示されます。
全画像マーク	すべての画像をマークします。
全画像マーク解除	すべてのマークされた画像をマーク解除します。

メモ

- カメラでマークした画像は、**SIGMA Photo Pro** 上でもマーク状態と表示されます。

ご注意 !!

- 動画ファイルはマークすることができません。

1 画像マーク

1

マークしたい画像を表示します。

2

MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」（**P.28**）を開き「**マーク**」を選択します。（サブメニューのオプションが「**マーク**」が選択された状態になっています）

3

OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押します。



- マークされた画像に ⚐ マークが表示されます。

メモ

- マークを解除するには、マークされた画像を選択し上記と同じ手順で解除します。
- OK ボタンを画像のマークのショートカットボタンに設定することもできます。（**P.100** 参照）

全画像マーク

1

画像の表示中に MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」（**P.28**）を開き「**マーク**」を選択します。

2

サブメニューで「**全画像マーク**」を選択します。

3

OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

4

◀▶ボタンで「**はい**」を選択し、OK ボタンを押して確定します。中止したい場合は、◀▶ボタンで「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

- マークされた画像にはすべて ⚐ マークが表示されます。

メ　モ

- マークされた画像をすべて解除するには、マークメニューの「**全画像マーク解除**」を選択します。
- 「**全画像マーク**」および「**全画像マーク解除**」は、画像を表示していないときでも実行可能です。

ご注意 !!

- 「**全画像マーク**」および「**全画像マーク解除**」は、カード内のファイル数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

画像を回転する



画像の表示方向を回転させることができます。

回転設定オプション

回転 ↻	現在選択されている画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
回転 ↺	現在選択されている画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。

1

回転したい画像を表示します。

2

MENU ボタンを押して「▶　**再生設定**」（**P.28**）を開き「**回転**」を選択します。

3
サブメニューで、回転方向（反時計回り「**回転 ↺**」あるいは時計回り「**回転 ↻**」）を選択します。

4
OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押します。

メ　モ

- 180 度回転する場合は同じ方向に 2 回、回転させます。
- 元に戻すには、反対方向に回転させます。
- OK ボタンを画像回転のショートカットボタンに設定することができます。（**P.100** 参照）
- カメラで回転させた画像は、**SIGMA Photo Pro** でも同じ向きで表示されます。

ご注意 !!

- 「**▶ 再生設定**」（**P.28**）の「**回転表示**」が「**切**」に設定されている場合、画像回転メニューは選択できません。

露出警告

露出オーバーで、画像が白く飛んでしまっているハイライト部分を、赤色で警告表示することができます。

「**▶ 再生メニュー**」（**P.28**）→「**露出警告**」で、「**入**」に設定してください。

- 露出警告は、撮影画像確認画面では表示されません。

露出警告表示を中止したい場合は、「**▶ 再生メニュー**」（**P.28**）→「**露出警告**」で、「**切**」に設定してください。

OK ボタンの割り当て

OK ボタンに再生メニューの機能を割り当てることができます。よく使う機能を割り当てて、1 アクションで簡単に行うことができます。

「▶ **再生メニュー**」（**P.28**）→「**OK ボタンの設定**」より設定します。

OK ボタンに割り当て可能な機能

ロック/ロック解除	ロックしていない画像上で OK ボタンを押すとロックされます。既にロックされている画像上で OK ボタンを押すとロックが解除されます。
マーク/マーク解除	マークしていない画像上で OK ボタンを押すとマークされます。既にマークされている画像上で OK ボタンを押すとマークが解除されます。
回転 ↻	OK ボタンを押すたびに、画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
回転 ↺	OK ボタンを押すたびに、画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。
露出警告	OK ボタンを押すたびに露出警告表示の ON/OFF が繰り返されます。
拡大表示	OK ボタンを押すたびに拡大表示（10x）/ 等倍表示が繰り返されます。

割り当てた機能を解除するには、「▶ **再生メニュー**」（**P.28**）→「**OK ボタンの設定**」で、「**なし**」に設定してください。

画像に音声メモを付ける

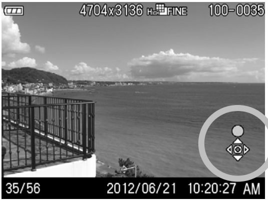
撮影済の画像に、30 秒までの音声のメモを付けることができます。撮影時の状況などをメモ代わりに声で記録するなど、非常に便利な機能です。

1

「▶ **再生メニュー**」（**P.28**）→「**音声メモ**」で、「**入**」に設定します。

2

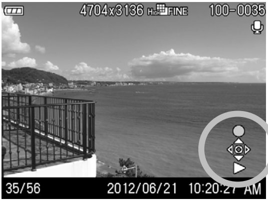
MENU ボタンを押してメニューを閉じます。



3

▲ボタンを押すと、録音が開始されます。

- 録音中に ▼ボタンを押すと録音を中止します。
- 30 秒を経過すると録音が自動的に停止します。



録音された音声は、▼ボタンを押すと再生されます。（音声付画像の再生の詳細は、**P.102**「**音声付画像を再生する**」をご覧ください。

ご注意 !!

- 音声メモ機能は、録音後も解除されずに繰り返し行われます。すでに音声の付けられた画像の表示中に ▲ボタンを押すと、録音が開始し音声が上書きされます。誤って上書きしないように、ご使用後は上記手順 **1** で「**切**」に設定してください。
- カードの容量が殆どない状態では、音声メモを付けることができません。

音声付画像を再生する



1

1 画像再生時に音声の付いた画像が選択されると、🎙 アイコンと操作ガイドアイコンが表示されます。

2

▼ボタンを押すと、音声が再生されます。再度▼ボタンを押すと、音声が停止します。

ご注意 !!

- 拡大表示、コンタクトシート表示は、音声の再生ができません。

メ モ

- 再生の音量を変えたい場合は、「🔧**カメラ設定**」（**P.28**）→「**音声設定**」→「**再生音量**」で変更できます。詳しくは **P.115**「**音声設定**」をご覧ください。
- 画像に付けられた音声は、画像と同じファイル番号の WAV 形式ファイルとして保存されています。例えば、ファイル番号 SDIM0010.JPG に付けられた音声は SDIM0010.WAV となります。パソコンに移したファイルを再生する場合は、画像と音声を関連付けた再生はできません。音声は WAV ファイルの再生が可能なソフトで再生してください。

スライドショーを見る

DP1 Merrill のスライドショー機能を使用すると、すべての画像あるいは選択した画像のみを自動的に再生します。

スライドショーオプション

全画像	すべての画像を再生します。
ロック画像	ロックされた画像のみ再生します。
マーク画像	マークされた画像のみ再生します。
スライドショーの設定	表示間隔の設定、繰り返しのする/しないを設定します。

ご注意 !!

- 動画は再生されません。（動画は最初の１コマのみ表示されます。）

スライドショーの見方

1

画像の表示中に MENU ボタンを押して「▶ **再生設定**」(**P.28**）を開き「**スライドショー**」を選択します。

2

サブメニューで「**全画像**」「**ロック画像**」「**マーク画像**」のいずれかを選択します。

3

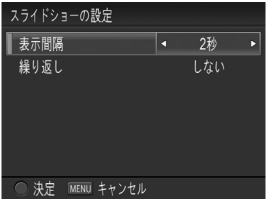
OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押すと、スライドショーが始まります。

スライドショーを途中で停止したい場合は、OK ボタンを押します。

ご注意 !!

- 「**マーク画像**」を選択した場合、カード内のファイル数によっては、スライドショーが開始されるまで、かなりの時間が掛かることがあります。

スライドショーの設定を変更する



スライドショーのサブメニューで「**スライドショーの設定**」を選択し、OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押すと、スライドショーの設定画面に移ります。

スライドショーの設定オプション

表示間隔	**2 秒** **5 秒** **10 秒**	画像が表示される時間を設定します。
繰り返し	**しない** **する**	スライドショーを繰り返すか、自動終了するかを設定します。

表示間隔

▲▼ボタンで「**表示間隔**」を選択し、◀▶ボタンで表示したい秒数を選択します。

繰り返し

▲▼ボタンで「**繰り返し**」を選択し、◀▶ボタンで「**しない**」か「**する**」を選択します。

設定の変更を確定する場合は OK ボタンを、しない場合は MENU ボタンを押します。

DPOF プリント

カードをデジタルプリント取り扱い店に持ち込んでプリントを依頼するとき､DPOF プリントメニューでプリントしたい画像の選択や枚数をあらかじめカメラで指定しておくことができます。指定情報は DPOF 対応プリンターでプリントする際にも利用できます。

ご注意 !!

- RAW データ（X3F ファイル）は、DPOF プリントの設定ができません。

1

画像の表示中に MENU ボタンを押して「▶ **再生メニュー**」（**P.28**）を開き「**DPOF 設定**」を選択します。

2

サブメニューで希望の指定方法を選択し、OK ボタン、もしくは ▶ボタンを押します。

DPOF 設定オプション

選択指定	▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定します。1 回で複数の画像を指定したい場合は､プリントしたい画像を ◀▶ボタンで表示させて ▲▼ボタンを押して枚数を指定します。この操作を繰り返して指定します。最後に OK ボタンを押して確定します。
全選択	カードに記録されているプリント可能な静止画データを一括指定します。▲▼ボタンを押して枚数を指定し、OK ボタンを押して確定します。
選択解除	以前に指定された枚数の指定を全てリセットします。OK ボタンを押すと、枚数指定が全て解除されます。

動画を撮る・観る

動画を撮影する

DP1 Merrill は音声付動画を撮影できます。

- 画像サイズは、VGA（640×480）サイズ（映像範囲は 640×426 で、画像下部に黒い帯が記録されます ）となります。
- 1 秒間に撮影されるフレーム数（フレームレート）は、30 フレームです。
- 動画のファイルは、AVI 形式で記録されます。（記録される動画のファイル名は、例えば、ファイル番号 0023 の場合、SDIM0023.AVI となります。）



1
モードボタンを押して、動画モード（ 🎥 ）を選択します。

2
シャッターボタンを押すと動画の撮影が開始されます。（撮影中は 🎥 アイコンとアクセスランプが点滅します。）

3
撮影を停止するには、再度シャッターボタンを押します。

- オートフォーカスで撮影の場合、シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスが働きピントが固定されます。撮影中はピントが固定されたままとなります。
- マニュアルフォーカスで撮影の場合、シャッターボタンを押すとフォーカスリングで設定したピント位置で固定されます。撮影中はフォーカスリングを回しても、ピントは固定されたままとなります。

- 動画モードでは、以下の撮影機能、および「**撮影設定**」「**カメラ設定**」内の項目が変更ができなくなります。

撮影機能

クイックセットメニュー（**P.35**）	MF モード時の拡大表示（**P.54**）

撮影設定

ISO 感度（**P.62**） ISO 感度ステップ（**P.64**） オートブラケット（**P.71**） ドライブモード（**P.55**） 画質（**P.66**）	画像サイズ（**P.65**） カラースペース（**P.66**） 縦位置情報記録（**P.75**） 撮影画像確認（**P.82**）

カメラ設定

カスタムモードの登録（**P.76**）	QS カスタム設定（**P.37**）

- 撮影可能時間はおおよそ以下のようになります。

1GB	2GB	4GB	8GB
10 分	20 分	40 分	80 分

ご注意 !!

- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- 撮影可能時間は、ご使用のカードにより異なります。また撮影可能時間内でも、ご使用のカードによっては、途中で撮影を終了する場合があります。
- 容量が 2GB 以上のカードを使用した場合でも、1 回の撮影で 2GB のデータ容量に達すると撮影が終了します。

ご注意 !!

- カードの容量が十分でも、電池の容量がなくなると撮影が終了します。
- 撮影残時間表示は、撮影中にカード容量から再計算されるため、一定に変化しない場合があります。
- 撮影残時間表示は、最大 99 分 59 秒まで表示できます。容量の大きなカードをご使用の場合、しばらく 99:59 からカウンターが動かないことがありますが、撮影残時間が 99 分 59 秒以下になるとカウンターが動きだします。
- 動画モードでのカスタムホワイトバランスの取り込みはできません。静止画モードで取り込まれた基準値が適用されます。

動画を再生する

動画を再生するには、次のように操作します。

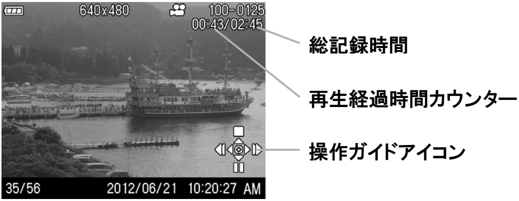
1

再生時に動画が選択されると、最初の 1 フレームが静止画像で表示されます。（画面の上端に アイコンと、画面の右端に操作ガイドアイコンが表示されます。）

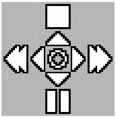
2

▼ボタンを押すと動画が再生されます。

動画再生中画面



動画再生中は･･･



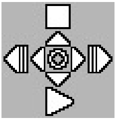
▲ボタンを押すと停止します。

▼ボタンを押すと一時停止します。

▶ボタンを押すと、早送り再生します。
（▶ボタンを押すごとに、早送りの速度が 2 倍、4 倍、8 倍、と速くなり、◀ボタンを押すごとに減速します。）

◀ボタンを押すと、逆早送り再生します。
（◀ボタンを押すごとに、逆早送り再生の速度が 2 倍、4 倍、8 倍、と速くなり、▶ボタンを押すごとに減速します。）

一時停止中は･･･



▲ボタンを押すと停止します。

▼ボタンを押すと再生します。

▶ボタンを押すとコマ送り再生します。押し続けている間、スロー再生します。

◀ボタンを押すと逆コマ送り再生します。押し続けている間、逆スロー再生します。

メ モ

- 再生の音量を変えたい場合は、「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**音声設定**」→「**再生音量**」で変更できます。詳しくは **P.115**「**音声設定**」をご覧ください。
- パソコンに移したファイルを再生する場合は、AVI ファイルの再生が可能なソフトで再生してください。

その他の設定変更

カメラの基本動作を好みの状態に変更できる設定項目をご紹介します。

ファイル番号の設定

記録されたデータには、自動的に 0001 から 9999 までのファイル番号が付けられます。データを再生しているときは、液晶モニタの右上にファイル番号が表示されます（**P.84, 87** 参照）。また、ファイル番号はデータのファイル名にも表示されます。ファイル名は、4 ケタのファイル番号と拡張子が SDIM の後に続きます。例えば、画像番号 0023 は RAW データの場合、SDIM0023.X3F、JPEG データの場合、SDIM0023.JPG と記録されます。DP1 Merrill で撮影された画像ファイルは、すべてカードの DCIM フォルダ内の ###SIGMA フォルダに記録されます。

- 「**撮影設定**」（**P.28**）→「**カラースペース**」で、「**Adobe RGB**」が選択されている場合、ファイル名の「SDIM」は「_SDI」となります。
- ファイル番号は連番か、空のカードを入れるたびにリセットされるかのいずれかを選択できます。設定は「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**ファイル番号**」より行います。

ファイル番号設定メニュー

通し番号（初期設定）	連続でファイル番号が付けられます。空のカードを入れたとき、最初のファイルに付けられるファイル番号は、以前の撮影で付けられた最後の番号より 1 つ大きい番号が付けられます。（DP1 Merrill で撮影した画像が記録されているカードを入れた場合、以前に付けられた最後の番号よりもカード内のファイルの番号が大きければ、その番号の続きが付けられます。）
オートリセット	空のカードを入れたり、使用中のカード内の画像をすべて消去するたびに、ファイル番号が初期の番号 0001 にリセットされます。（DP1 Merrill で撮影した画像が記録されているカードを入れた場合、番号はリセットされずに次の番号が付けられます。）

ご注意 !!

- フォルダ番号ーファイル番号が ”999-9999”に達した場合、カードに空き容量があっても、「**容量がいっぱいです。**」とメッセージが表示され、それ以上撮影ができなくなります。一旦再生モードに切り換え、ファイル番号を確認してください。”999-9999”のファイルが存在する場合には、以下の対処を行ってください。

  1. カード内のすべてのファイルをパソコン等に保存します。
  2. カードを初期化します。
  3. 「**ファイル番号**」の設定が 「**通し番号**」になっている場合は、一旦「**オートリセット**」に設定します。
  4. これで撮影を続行することができます。通常、ファイル番号を「**通し番号**」に設定している方は、再度「**通し番号**」に設定してください。

- 予備のカードに入れ替えて撮影を続行したい場合は、手順 3 から同様の設定を行ってください。

ダイヤルとボタンのカスタマイズ

露出設定時のダイヤル・ボタンの割り当てや操作方向、フォーカスリングの操作方向などを好みの状態にカスタマイズすることができます。

ダイヤルとボタンの機能入換

絞りやシャッタースピードの変更や、露出補正の設定は コマンドダイヤルと ◀▶ ボタンを使用しますが、各露出モードごとに、これらの割り当てを変更することができます。

「**📷 撮影設定**」（**P.28**）→「**ボタン機能入換設定**」より設定します。



▲▼ ボタンで露出モードを選択し、◀▶ ボタンで機能を変更し、OK ボタンで確定します。

- ボタンの割り当てを初期状態に戻したい場合は、[表示] ボタンを押してリセットし、OK ボタンで確定してください。

操作方向の反転

各露出モードにおける、ダイヤルの操作方向や、フォーカスリングの操作方向を反転させることができます。

「**📷 撮影設定**」（**P.28**）→「**操作方向の反転**」より設定します。



▲▼ ボタンで変更したい項目を選択し、◀▶ ボタンで「**しない**」「**反転する**」を選択したあと、OK ボタンで確定します。

絞り・シャッター速度

	絞り値	シャッター速度
しない （初期設定）	**開く**  **絞る**	**遅い**  **速い**
反転する	**絞る**  **開く**	**速い**  **遅い**

露出補正

	露出補正値
しない （初期設定）	**マイナス補正**  **プラス補正**
反転する	**プラス補正**  **マイナス補正**

フォーカスリングの反転

	ピント位置
しない （初期設定）	**近距離側**  **遠距離側**
反転する	**遠距離側**  **近距離側**

ご注意 !!

- ◀▶ボタンに割り当てられた機能の操作方向の反転はできません。

LCD オフとオートパワーオフ

DP1 Merrill は電池の消耗を抑えるために、ある一定の時間操作しない状態が続くと、自動的に液晶モニタを OFF にする「**LCD オフ**」と、電源を OFF にする「**オートパワーオフ**」の機能を備えています。

LCD オフとは

ある一定の時間操作しない状態が続いたとき、電池の消耗を抑えるため、自動的に液晶モニタのバックライトを OFF にします。LCD オフ中は、カメラの電源は ON の状態ですので、各ボタンは通常通り操作可能です。シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影を始めることができます。

オートパワーオフとは

LCD オフ中にも操作が行われなかったときに、より電池の消耗を抑えるため、自動的にカメラの電源を OFF にします。オートパワーオフ中は、各ボタンは機能しません。電源スイッチを押して、カメラの電源を ON にする必要があります。

「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**LCD オフ**」および「**オートパワーオフ**」より設定してください。

LCD オフ

切
(eco) **10 秒**
30 秒
1 分（初期設定）
5 分
10 分

オートパワーオフ

切
30 秒
1 分
5 分（初期設定）
10 分

- (eco) マークは、電池の消耗を抑える推奨設定です。

メ　モ

- 「**LCD オフ**」の「**切**」は自動的に消灯しなくなる設定です。
- 「**オートパワーオフ**」の「**切**」は自動的に電源が切れなくなる設定です。

ご注意 !!

- 「**LCD オフ**」の設定は、「**オートパワーオフ**」の設定よりも長い時間を設定することはできません。例えば「**LCD オフ**」を「**5 分**」、「**オートパワーオフ**」を「**1 分**」に設定した場合、「**LCD オフ**」の設定時間が自動的に「**1 分**」に変更されます。

音声設定

カメラの各種電子音の設定や、動画、音声メモの再生音量に関する設定を説明します。

音声設定は「**🔧カメラ設定**」（**P.28**）→「**音声設定**」より行います。

シャッター音

シャッターボタンを押した時に、シャッター音を鳴らしたい場合は「**入**」、鳴らしたくない場合は「**切**」に設定してください。

- 「**入**」が初期設定です。

操作音

ピントが合ったの合焦音、ピントが合わなかった時の警告音、セルフタイマーの作動音を鳴らしたい場合は「**入**」、鳴らしたくない場合は「**切**」に設定してください。

- 「**入**」が初期設定です。

操作音量

シャッター音、操作音の音量を 0～5 の 6 段階で設定できます。音量を小さくしたい場合は ◀ボタン、音量を大きくしたい場合は ▶ボタンを押してください。

- 0 は音を鳴らさない設定です。
- 3 が初期設定です。

再生音量

動画、および音声メモの音量を 0～5 の 6 段階で設定できます。音量を小さくしたい場合は ◀ボタン、音量を大きくしたい場合は ▶ボタンを押してください。

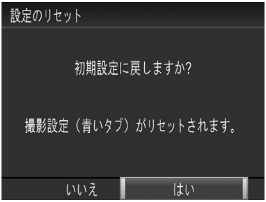
- 0 は音を鳴らさない設定です。
- 3 が初期設定です。

設定の初期化

カメラの設定を初期の設定に戻すことができます。

「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**設定のリセット**」より初期化を行います。

「**撮影設定**」（青いタブ）の項目がすべて初期設定に戻ります。



「**設定のリセット**」画面で◀▶ボタンを押し、「**はい**」を選択して OK ボタンを押します。

初期化を中止したい場合は◀▶ボタンを押して「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

その他の項目も含めてリセットしたい場合は、工場出荷状態に戻す必要があります（日付時刻の設定はリセットされません）。

「**設定のリセット**」画面で ボタンを押すと、「**工場出荷状態に戻しますか？**」と確認メッセージが切り替わります。

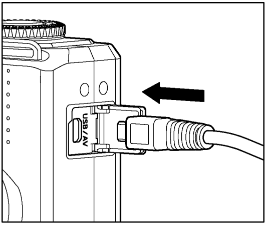
工場出荷状態に戻すには、◀▶ボタンを押して「**はい**」を選択して OK ボタンを押します。

中止したい場合は ◀▶ボタンを押して「**いいえ**」を選択して OK ボタンを押します。

パソコンと接続する

パソコンとの接続について

カードに記録された画像は、DP1 Merrill をパソコンに接続して転送することができます。画像データの転送速度はパソコンの性能やオペレーティングシステムにより変わります。パソコンとの接続方法の詳細は、現像ソフト **SIGMA Photo Pro** のヘルプをご覧ください。



1

パソコンの電源を入れます。

2

付属の専用 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

警 告 !!

- パソコンとカメラを接続している時に、パソコンがスリープ状態になると、転送中のデータが壊れるおそれがあります。パソコンがスリープ状態に入らない設定にしてください。
- パソコンとカメラを接続している時に、あとから他の USB 機器を接続しないでください。転送中のデータが壊れるおそれがあります。
- パソコンとの接続には、付属の専用ケーブル以外は使用しないでください。他のケーブルを使用すると、故障の原因になることがあります。
- USB 接続中は、カメラのシャッターボタンと液晶モニタは使用できません。
- USB 接続中は、カメラのオートパワーオフの機能が働きません。

参考資料

カメラのスペックなどを説明します。

別売アクセサリー

エレクトロニックフラッシュ EF-140 DG SA-STTL

最大ガイドナンバー14（ISO100・m）の小型オートフラッシュです。詳しくは **P.78** をご覧ください。

ビューファインダー VF-11

非常に見え味の良いアルバダ式逆ガリレオファインダーです。カメラのホットシューに取り付けて使用します。液晶モニタを使わずにファインダーを覗いて構図を決める、昔ながらの撮影スタイルで写真を撮ることができます。外光の影響で液晶モニタが見づらい場合などにも確実なフレーミングができます。

レンズフード LH1-01

斜めからの不要な光線をカットし、フレアやゴーストを軽減する効果があります。レンズ先端に簡単に取り付けができます。

AC アダプター SAC-5

家庭用電源で DP1 Merrill を使用するための専用 AC アダプターです。（AC アダプターとカメラを接続する DC コネクター**CN-11** が付属されています。） 屋内で大量に撮影する場合や、画像の転送時等にご使用ください。詳しくは **P.23** をご覧ください。

お手入れについて

- ボディやレンズのお手入れにシンナーやベンジンなどの有機溶剤は表面の仕上げをいためますので絶対に使用しないでください。ボディやレンズの鏡筒部は柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。レンズ面についたほこり等は市販のブロワーで軽く吹き飛ばす程度にし、指紋などがついてしまった場合は市販のレンズクリーナーを使用して慎重に拭きとってください。
- 注油の必要はありません。注油は逆効果の恐れがありますので絶対にしないでください。
- 液晶モニタにほこりやゴミ等が付着した場合は、市販のブロワーで吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。

保管について

- 長期間ご使用にならないときは、液漏れによるカメラの破損を防ぐため、電池を取り出して保管してください。
- カビや錆の発生を防ぐため、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。カメラを乾燥剤といっしょにビニール袋にいれて保管するのも有効な手段です。ただし乾燥剤は有効期限がありますので、ときどき交換してください。ナフタリン等の防虫剤はカメラに悪影響を与えますのでいっしょに保管しないでください。

液晶モニタについて

- 液晶モニタはその特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。また、記録されるデータには影響ありません。予めご了承ください。
- 液晶の特性により、低温下で表示の反応が遅くなることがあります。また、高温下で表示が黒くなることがありますが、常温になれば正常に戻ります。

基本用語の解説

AE

Auto Exposure の略で、カメラに内蔵された露出計の値をもとに、自動的に最適な露出（シャッター速度と絞り値の組み合わせ）が決定されます。

AE ロック

AE モードのまま露出を固定する方法です。例えば被写体を画面の中央から外れた構図にしたい場合、一旦被写体を中央に置いて測光値を固定すれば、構図を変えてもバックの明るさに影響されません。（このカメラでは AE ロックボタンを使用します。）

AF

Auto Focus の略で、カメラに内蔵されたセンサーによって、自動的にピントを合わせる機能です。

AF ロック

AF モードのままピントを固定する方法です。例えば被写体を画面の中央から外れた構図にしたい場合、一旦被写体を中央に置いてピントを固定すれば、構図を変えてピントがずれません。（このカメラではシャッターボタンの半押しを利用します。もしくは AEL ボタンを設定変更することにより、AEL ボタンで AF ロックすることもできます。）

CMOS

Complementary Metal Oxide Semiconductor（相補性金属酸化膜半導体）の略で、画素数分のフォトダイオード、増幅装置、ワイヤーからなる撮像素子です。CMOS センサーのメリットは、1 画素ごとに電気信号を増幅し取り出せる構造になっており、応答速度に優れ、消費電力が少ないことがあげられます。

EV

Exposer Value の略で露光量を表す単位で、被写体の明るさとフィルムの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。フィルムに与えられる光量が２倍になると EV 値は＋１、半分になると EV 値は－１変化します。デジタルカメラでも、銀塩写真に準じて EV 値が使われます。

ISO 感度

ISO（国際標準機構）感度として表記されている、フィルムの光に対する感度の強さを示す数値です。ISO 感度は数値が大きくなるほど光に対する感度が強くなります。デジタルカメラでも、銀塩写真に準じて ISO 感度が使われます。

JPEG

Joint Photographic Experts Group の略です。カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高いほどファイルサイズは小さくなりますが、画像を復元したときの画像は劣化します。

NTSC (National Television Standards Committee)
アメリカや日本などが採用している地上波アナログカラーテレビ放送の映像信号方式。アナログ・コンポジット方式とも呼ばれています。仕様を作成したアメリカの標準化委員会 (National Television Standards Committee) の略称がそのまま方式名になっています。水平方向の走査線数が 525 本で 1 秒間に 30 フレームで構成されています。

PAL (Phase Alternation by Line)
旧西ドイツで開発され、フランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで採用されている地上波アナログカラーテレビ放送の映像信号方式。水平方向の走査線数が 625 本で毎秒 25 フレームで構成されています。

RAW
撮像素子からの情報を特別な演算処理を加えず、パソコン上での画像処理を前提としたデータ形式です。画像の劣化しない方式で圧縮されたデータを専用ソフトで解凍、画像処理ができますので、高画質を保ったまま補正を加えることができます。

色温度
光源から出る光の色合いを、温度を表わすケルビン（K）という単位を使って数字で表わしたもの。基準となる太陽光は 5600 K 付近となり、色温度が低いと赤味が強い光となり、高いと青味が強い光となります。ちなみにタングステン光は 3200K 程度､パソコンのディスプレイは 9300 K 程度に設定されています。

オートパワーオフ機能
ムダな電力消費を防ぐため、一定の時間カメラを操作せずに放置すると、自動的に電源を OFF にする機能です。

絞り値
撮像素子に当たる光の量をレンズ内の絞り羽根を開けたり閉じたりして調整しますが、この開口部の大きさを表した数字（焦点距離÷開口径）を絞り値と言います。数値が小さいほど明るく、大きくなるほど暗くなります。

シャッター速度
撮像素子に当たる光の量をカメラのシャッターの開いている時間で調整しますが、このシャッターの開いている時間の長さをシャッター速度と言います。

ヒストグラム (histogram)
一般的には分布図のことですが、画像用語としては画像の明るさの分布を表わしたものを指します。水平軸は明るさのレベルを表し、垂直軸が各明るさでの画素の登場回数を表わしています。DP1 Merrill、および SIGMA Photo Pro のヒストグラム表示は、R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。

ホワイトバランス

人間の目は照明の種類が変わっても、白いものは白く見えるように自動的に調整されます。デジタルカメラは、白いものが白く写るように照明光の色に合わせた調整が必要です。この調整をホワイトバランスと言います。自動的にホワイトバランスを調整する機能をオートホワイトバランスと言います。

露出

撮影するために撮像素子に当てる光の量を露出といいます。また、撮像素子の感度に合わせて適切な光量を当てることを適正露出と言います。露出は、「絞り値」と「シャッター速度」の組み合わせで調整します。

困ったときは

カメラの調子が悪かったり写真がうまく写らなかった場合、故障と思われる前に次の点を確認してください。

液晶モニタになんの表示も出ない。

電池が消耗している。

►充電された電池と交換してください。(**P.18~22**)

液晶モニタが OFF になっている

►|□| ボタンを押して液晶モニタを表示させてください。(**P.38**)

LCD オフ状態になっている。

►シャッターボタンを半押しする、もしくはいずれかのボタンを押してください。(**P.114**)

シャッターが切れない。

データ処理中(ビジー状態)になっている。

►処理が終わるまでお待ちください。

カードの使用容量がいっぱいになっている。

►新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。(**P.91 - 93**)

オートフォーカスが動かない。

フォーカスモードが MF になっている。

▶フォーカスモードボタンを押してモードを切り換えてください。（**P.49**）

電源が勝手に切れる。

オートパワーオフが働いている。

▶バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が働いています。不都合がある場合は、セットアップメニューでオートパワーオフの設定を「**切**」に設定してください。（**P.114**）

撮影・記録ができない。

カードの使用容量がいっぱいになっている。

▶新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。（**P.91 - 93**）

電池が消耗している。

▶充電された電池と交換してください。（**P.18~22**）

カードにロックがかかっている。

▶カードのロックを解除してください。（**P.10**）

カードのデータが壊れている。

▶カードに必要なデータが残っている場合にはパソコンにバックアップをとった後、カメラでカードを初期化してください。（**P.42**）

液晶モニタの表示・画像が不鮮明になる。

ゴミや汚れが付いている。

▶ブロワーで吹き飛ばしたり、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。（**P.119**）

液晶モニタが劣化している。

▶お買い上げの販売店、もしくは弊社カスタマーサポートにご相談ください。

画像がボケて写っている。

ピントが合わないままシャッターを切っている

▶シャッターを半押しして、フォーカスフレームが緑色になったのを確認してシャッターを切ってください。（**P.49**）

フォーカスモードが MF になっている。

▶フォーカスモードボタンを押してモードを切り換えてください。（**P.49**）

手ブレをおこしている。

▶フラッシュ撮影をするか、三脚等を利用してカメラを固定して撮影してください。（**P.78**）

画像を消去できない。

画像にロックがかかっている。

▶ロックを解除してください。（**P.93 - 95**）

カードにロックがかかっている。

▶カードのロックを解除してください。（**P.10**）

撮影年月日・時間が正しく表示されない。

日付・時間が正しく設定されていない。

▶日付・時間を正しく設定してください。（**P.27**）

テレビに画像が出ない。

AV ケーブルがしっかりと差し込まれていない。

▶AV ケーブルを根元までしっかりと差し込んでください。

映像端子（黄色）と音声端子（白）が正しく接続されていない。

▶映像端子（黄色）と音声端子（白）が正しく接続されているかチェックしてください。（**P.90**）

音声が再生されない

音量がゼロになっている。

▶「**カメラ設定**」（**P.28**）→「**音声設定**」→「**再生音量**」を調整してください。（**P.115**）

主な仕様

撮像素子	FOVEON X3 ダイレクトイメージセンサー (CMOS)	
撮像素子サイズ	23.5 ×15.7mm	
画素数	総画素 : 約 48MP　有効画素 : 約 46MP（4800 x 3200 x 3）	
アスペクト比	3 : 2	
レンズ	19mm（35mm カメラ換算：28mm 相当の画角）	
レンズ F 値	F2.8 ~ F16	
レンズ構成	8 群 9 枚	
撮影範囲	20cm ~ ∞、 1m ~ ∞ (LIMIT モード)	
フィルターサイズ	49mm	
記録媒体	SD / SDHC / SDXC メモリーカード、マルチメディアカード	
記録フォーマット	Exif 2.3 準拠、DCF 2.0 準拠、DPOF 準拠	
記録方式	静止画	ロスレス圧縮 RAW（12-bit、High、Medium、Low）、 JPEG (High、Medium、Low) RAW+JPEG
	動画	AVI
画像サイズ （記録画素数）	静止画	HIGH：4704 x 3136 画素 MED (Medium)：3264 x 2176 画素 LOW：2336 x 1568 画素
	動画	VGA : 640×480 (映像範囲 640×426)
画質モード（静止画）	RAW、JPEG (Fine, Normal, Basic)、RAW+JPEG(Fine)	
ホワイトバランス	8 種 (オート、晴れ、日陰、くもり、白熱電球、蛍光灯、フラッシュ、カスタム)	
カラーモード	7 種 (スタンダード、ビビッド、ニュートラル、ポートレート、風景、※白黒、※セピア) ※JPEG 設定時のみ	
ISO 感度 （推奨露光指数）	ISO 100～ISO 6400（1/3 段ステップで設定可能） AUTO : ISO100～ISO 6400 の範囲で上限、下限の設定が可能。フラッシュ撮影時は下限設定時により変化	
オートフォーカス	コントラスト検出方式	
測距点	9 点選択モード、自由移動モード （フォーカスフレーム 3 段階に大きさの変更が可能）	

フォーカスロック	シャッター半押しによる（メニュー設定により AE ロックボタンによる AF ロック可）
マニュアルフォーカス	フォーカスリング式
測光方式	評価測光、中央部重点平均測光、スポット測光
露出制御方式	(P) プログラム AE、(A) 絞り優先 AE、 (S) シャッター優先 AE、 (M) マニュアル
露出補正	±3EV (1/3 ステップ)
AE ロック	AE ロックボタンによる
オートブラケット	±3EV (1/3 ステップ、適正→アンダー→オーバー) (順序変更可)
シャッター速度	1/2000 秒 ~ 30 秒 （最高シャッター速度は、絞りによって変化）
フラッシュモード	強制発光、赤目軽減発光、スローシンクロ
外部フラッシュ	ホットシュー (X 接点、専用フラッシュ連動接点付)
ドライブモード	1 コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー (2 秒 / 10 秒) インターバルタイマー、無限連写
液晶モニタ	約 92 万ドット 3.0 型 TFT カラー液晶
表示言語	17 言語 (英語・日本語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・簡体中文・繁体中文・韓国語・ロシア語・オランダ語・ポーランド語・ポルトガル語・デンマーク語・スウェーデン語・ノルウェー語・フィンランド語)
インターフェース	USB 端子 (2.0)、 ビデオ出力 (NTSC / PAL)、オーディオ出力 (モノラル)
電源	専用リチウム充電池 (Li-ion Battery BP-41)、 AC アダプターSAC-5 (DC コネクターCN-11 併用)(別売)
撮影可能枚数	約 97 枚（Li-ion Battery BP-41 使用、25℃時）
大きさ	121.5mm (幅) × 66.7mm (高さ) × 64.3mm (奥行)
質量	360g (電池、カード除く)

製品のお問い合わせは…
シグマ カスタマーサポート部
フリーコール：**0120-9977-88**
（携帯電話・PHS をご利用の方は 044-989-7436 にご連絡ください）
サポート・インターネットページアドレス
http://www.sigma-photo.co.jp/support/index.htm

株式会社シグマ
本　　社
〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号
☎(044) 989-7430(代)　FAX: (044) 989-7451
インターネットホームページアドレス **http://www.sigma-photo.co.jp**